

北海道数量集計サポートシステム

機能マニュアル

2019/5/30 改定版

一般財団法人 北海道建設技術センター

目 次

このシステムについて.....	1
1. 基本操作.....	2
1-1. 補足説明の表示.....	2
1-2. ウィンドウの基本設定.....	2
2. システム起動.....	5
2-1. システム起動.....	5
2-2. ログイン.....	5
2-3. お知らせ表示.....	6
<1> 検索.....	6
<2> お知らせの再確認.....	6
3. 数量集計表一覧.....	7
3-1. 表示・編集グループ.....	8
<1> 表示・編集グループ.....	8
<2> 編集.....	8
3-2. 数量集計表管理.....	8
<1> 数量集計表情報.....	8
<2> グループ共有タグ・ユーザータグ.....	9
<3> 絞り込み表示.....	9
3-3. 数量集計表のコピー.....	10
3-4. 数量集計表のエクスポート・インポート.....	10
<1> 数量集計表のエクスポート.....	10
<2> 数量集計表のインポート.....	11
3-5. 数量集計表の削除.....	11
<1> 数量集計表一覧からごみ箱へ削除.....	11
<2> ごみ箱から完全削除.....	12
3-6. 数量集計表の復旧.....	13
3-7. タグ表示.....	13
3-8. 検索条件表示切り替え.....	13
3-9. 検索.....	13
<1> 工事名称検索.....	14
<2> 数量集計表名称検索.....	14
<3> 更新日検索.....	14
4. 数量集計表作成.....	15
4-1. 工事情報.....	16
4-2. 数量集計表情報.....	16
4-3. 使用するデータ.....	16
5. 内訳構成.....	17

5-1. 内訳構成画面	17
<1> 数量集計表画面	17
<2> 内訳数量表画面	18
5-2. 画面の表示項目	18
<1> 行番号	18
<2> 種別	18
<3> 名称	19
<4> 規格	19
<5> 単位	20
<6> 数量	20
<7> 備考	20
<8> 内訳別紙	20
<9> 数量区分	20
<10> 数量まるめ	20
5-3. 画面切り替え	21
<1> 下位構成	21
<2> 上位構成	22
5-4. 内訳構成画面編集	22
<1> 構成行編集	22
<2> 内訳数量表ヘッダー編集	26
<3> 切り取り	26
<4> コピー	26
<5> 貼り付け	27
<6> 削除	27
<7> 積算要素挿入	30
<8> 挿入	30
5-5. 検索	31
5-6. UNDO・REDO（元に戻す・先に進む）機能	31
6. 体系ツリー	32
6-1. レベル1の追加・削除	32
6-2. 体系の採用	33
6-3. 歩掛の採用	35
6-4. 施工パッケージの採用	36
6-5. 施工パッケージの条件入力・修正	37
<1> 条件入力画面	37
6-6. 解除	39
6-7. 検索	40
6-8. オプション体系作成	40
<1> 追加	40
6-9. 名称変更	42
6-10. コピー・貼り付け	42
6-11. 整列	44
6-12. 工事区分追加・削除	45
6-13. 工事区分並び替え	46
7. 数量集計表ツリー	47

8. 工事情報	48
8-1. 工事情報	48
<1> 工事名称	48
<2> 工事年度	48
8-2. 数量集計表情報	49
<1> 数量集計表名	49
<2> 数量集計表コード	49
<3> 所有ユーザー	49
<4> 作成・更新	49
9. 集計表情報設定	50
10. 体系化集計表出力	51
10-1. 体系化集計表出力	51
<1> 出力先	51
10-2. 出力ファイル	53
<1> 出力ファイル構成	53
11. 検索	58
11-1. 画面について	58
<1> 検索範囲	58
<2> 検索対象	58
<3> オプション	58
11-2. 検索	59
<1> 検索設定	59
<2> 検索結果	59
12. 数量集計表保存	60
12-1. 新規作成した数量集計表	60
12-2. 既存数量集計表	60
13. ユーザー環境設定	61
14. その他の機能	62
14-1. 数量集計表チェック	62
14-2. 画面フォントサイズの変更	66
14-3. 画面表示スタイル初期化	66
14-4. 数量集計表救助	66
<1> 救助	67
<2> 削除	67
<3> キャンセル	67
14-5. システム情報	69
<1> システム情報ファイル出力	69
14-6. バージョン情報	69

このシステムについて

- (1) 数量集計サポートシステムの基準データは、国の基準を元に使用頻度の高いもののみを提供しております。
そのため北海道で採用されていないデータも含まれています。
また、北海道独自仕様とは一部異なる場合もございますので、ご了承ください。
- (2) 製品内容は予告無く変更することがありますのでご了承下さい。
Microsoft, Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、商品名は一般に各社の商標又は登録商標です。

1. 基本操作

1-1. 補足説明の表示



『memo』マークが存在する箇所は、「北海道数量集計サポートシステム」を利用するにあたって様々な情報を提供しています。



作業を進めていくと、何らかのトラブルが発生する場合があります。『注意』マークを参考にしてください。



『ポイント』マークの内容を知っておくと、今後システムを利用する時に、作業を円滑に進めることができます。

1-2. ウィンドウの基本設定

ウィンドウには、タイトルバー、メニューバー及びツールバーがついています。ここから主な機能を選択していきます。本システムは、基本的に“Windows”に準じていますので、詳しくは“Windows”のマニュアルを参照して下さい。

最小化ボタン

ウィンドウが閉じて、タスクバーとして表示されます。タスクバーのボタンをクリックすると元の大きさに戻ります。

最大化ボタン

ウィンドウが画面全体に表示されます。最大化するとボタンは に変わり、 をクリックすると元の大きさに戻ります。

閉じるボタン

システムを終了します。未保存のデータが存在する場合、[確認] 画面が表示されます。

タイトルバー

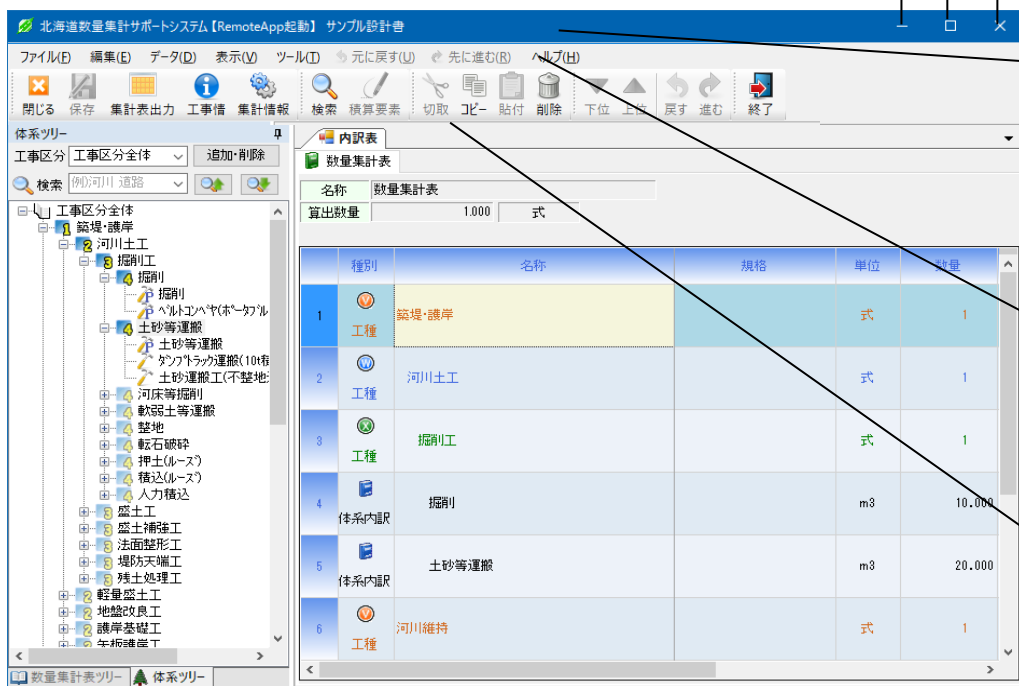
システム名、起動方法、工事名称が表示されます。

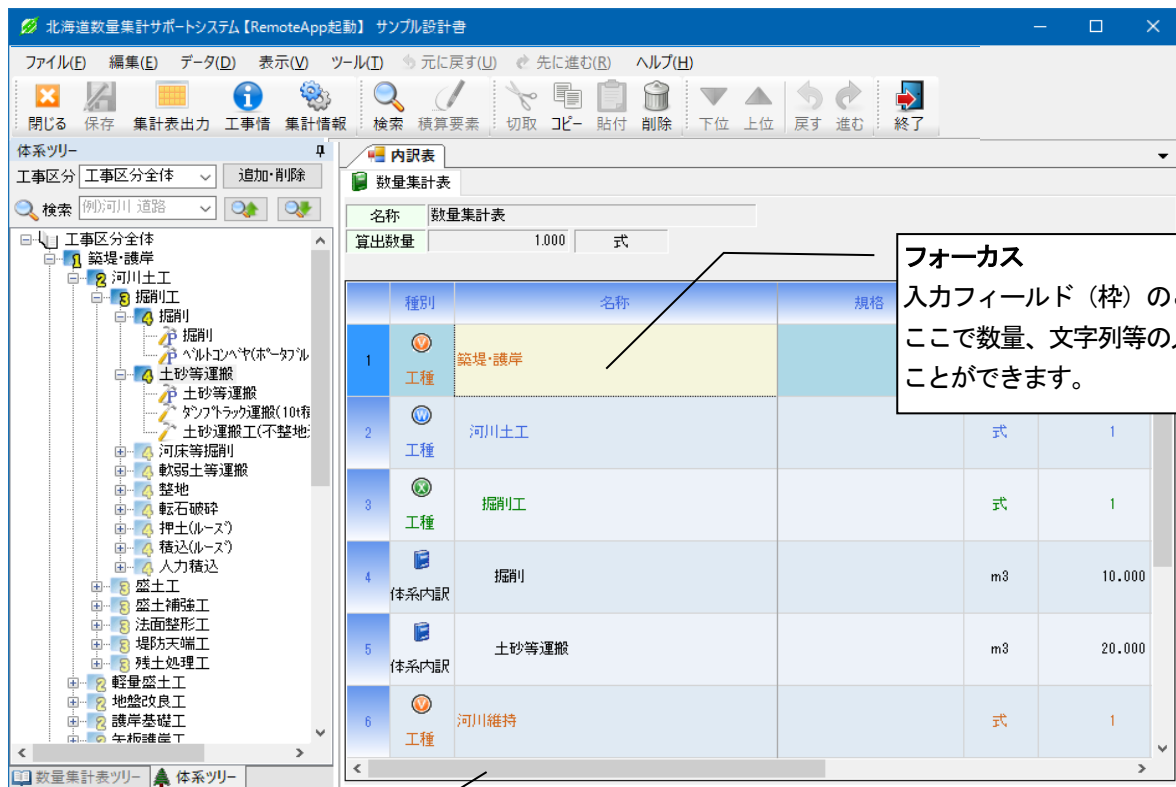
メニューバー

『ファイル(F)』～『ヘルプ(H)』までの文字の箇所をクリックすると各分類のメニューが表示されます。

ツールバー

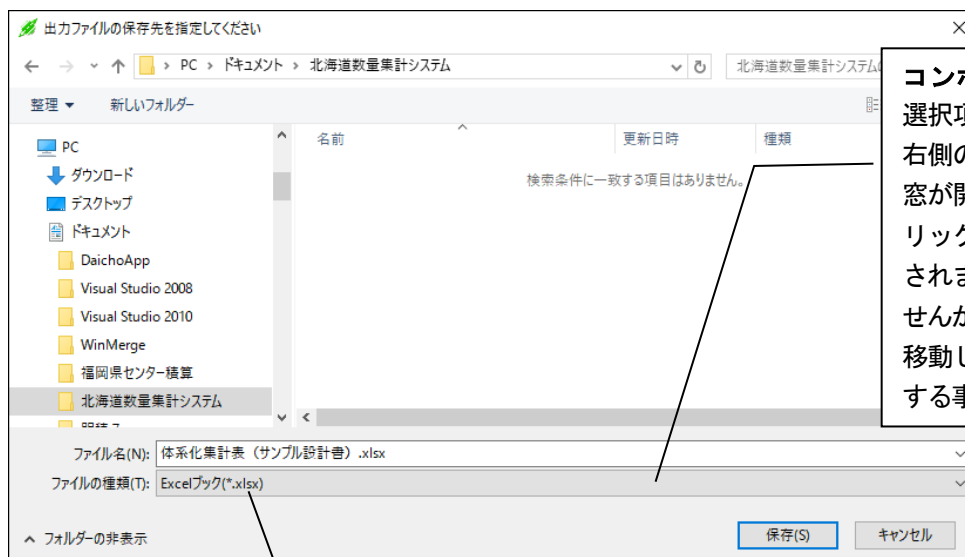
各ボタンをクリックすると、その機能を使うことができます。





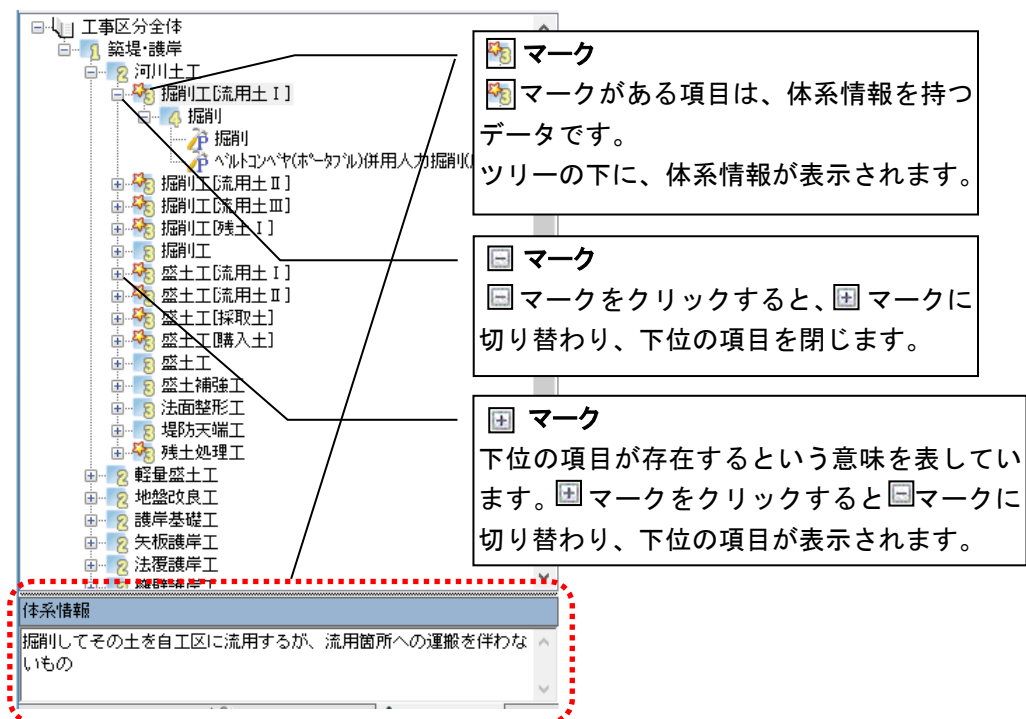
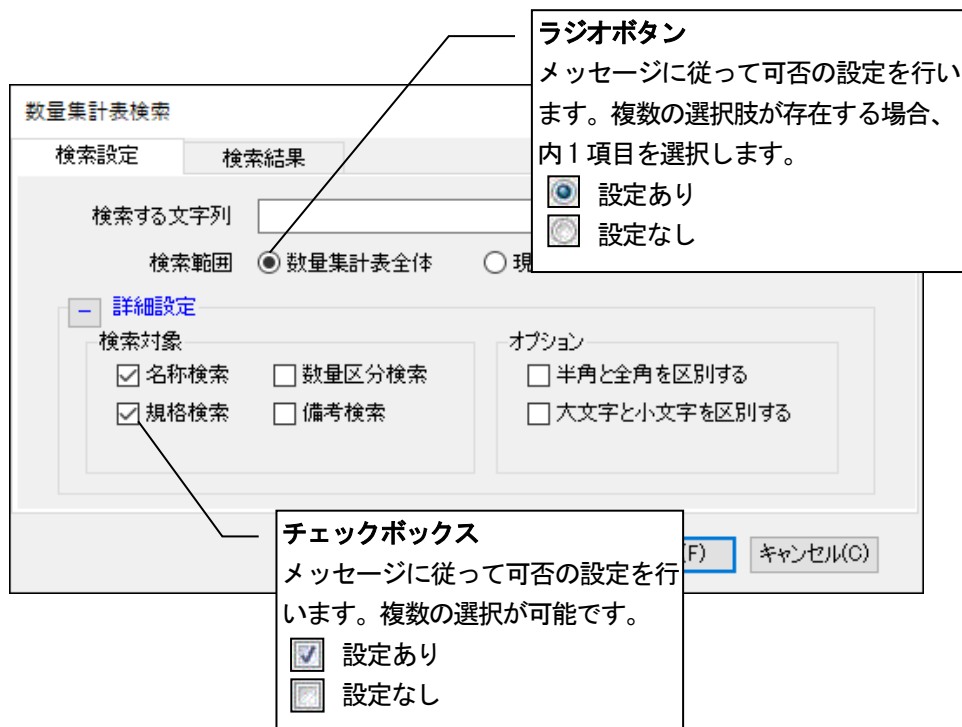
スクロールバー

ここを左右にドラッグすると、ウィンドウ内の表示も同じ方向にスクロールします。ここをクリックするとウィンドウ内の表示が右（矢印の方向）にスクロールします。



拡張子

ファイルの種類を表したものです。ピリオドの後、半角4文字で表示されます。



2. システム起動

2-1. システム起動

「北海道数量集計サポートシステム」を起動します。
IEにて、「北海道数量集計サポートシステム」のページを表示します。
起動の詳細については、ページ内のリンクを参照して下さい。

2-2. ログイン

接続が完了すると〔北海道数量集計サポートシステム ログイン〕画面が表示されます。
ユーザーIDとパスワードを入力して、『ログイン』ボタンをクリックして下さい。

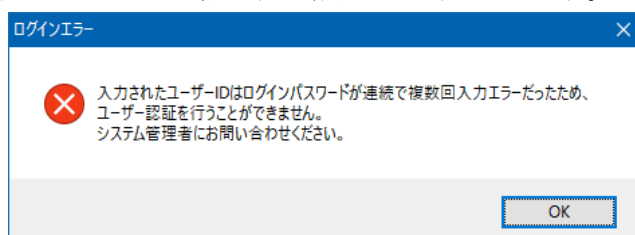
「北海道数量集計サポートシステム」が起動します。



起動中画面

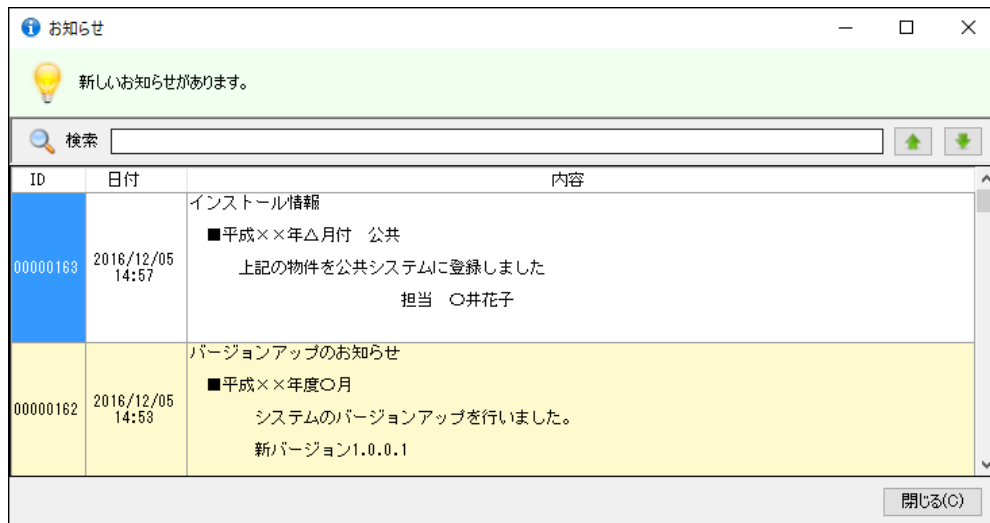
※注意

セキュリティ強化のため、ユーザー認証でパスワードが連続して複数回入力エラーだった場合、ユーザーアカウントが、ロックアウトします。
解除にはシステム管理者へ報告が必要となります。



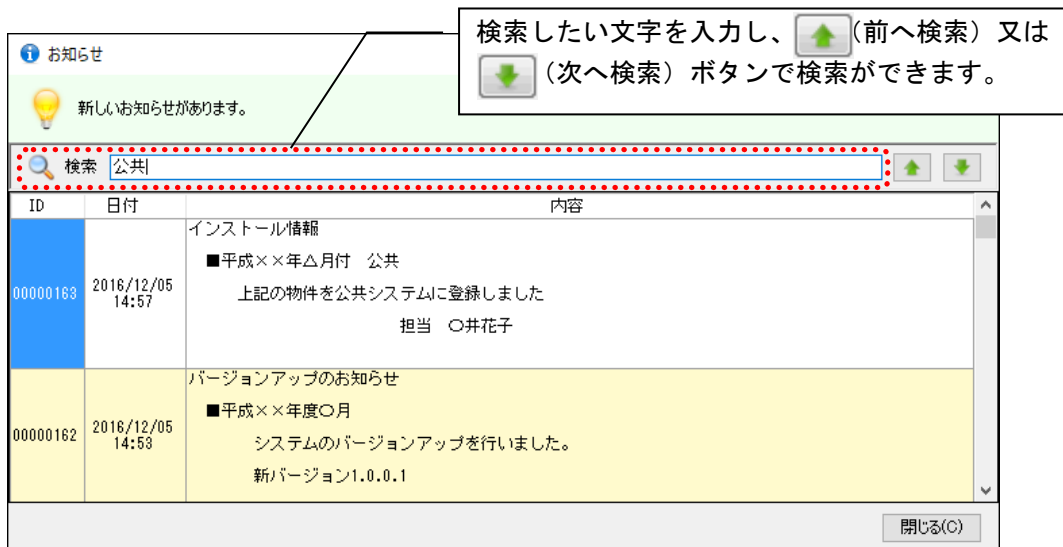
2-3. お知らせ表示

ログイン後に「お知らせ」画面が自動表示されます。



< 1 > 検索

「お知らせ」画面から、お知らせを検索することができます。



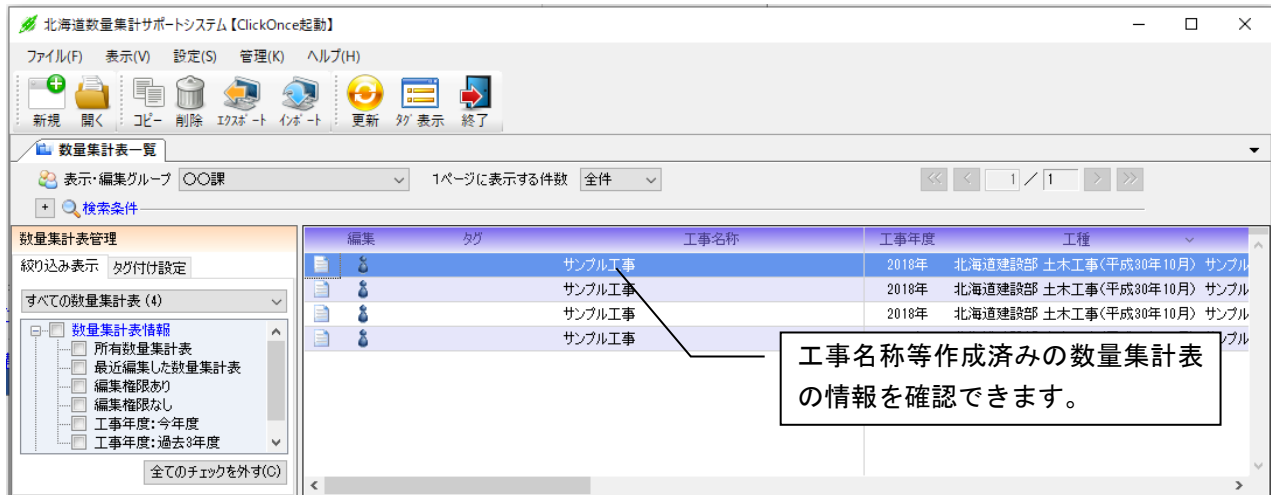
< 2 > お知らせの再確認

















ログイン時に表示されたお知らせは、以下の手順で確認することができます。

■メニュー：『ヘルプ(H)』－『お知らせ表示(I)』

3. 数量集計表一覧

システムを起動すると、「数量集計表一覧」画面が表示され、数量集計表の各情報が確認できます。








-  ... 数量集計表の新規作成を行います。
 「[4. 数量集計表作成](#)」
-  ... 数量集計表を開きます。
 「[5-1 内訳構成画面](#)」
-  ... 作成済みの数量集計表をコピーします
 「[3-3 数量集計表のコピー](#)」
-  ... 数量集計表を削除します。
 「[3-5 数量集計表の削除](#)」
-  ... 数量集計表をエクスポートします。
 「[3-4 数量集計表のエクスポート・インポート](#)」
-  ... 数量集計表をインポートします。
 「[3-4 数量集計表のエクスポート・インポート](#)」
-  ... 最新の状況に更新します。
-  ... 数量集計表一覧タグリストの表示状態を変更します。
 「[3-7 タグ表示](#)」
-  ... 「北海道数量集計サポートシステム」を終了します。



その他の操作方法

数量集計表を選択して右クリックすると、メニューが表示されます。

※「読み取り専用で開く (R)」場合、印刷及び編集内容の保存はできません。

-  開く(O)
-  読み取り専用で開く(R)
-  数量集計表コピー(C)
-  数量集計表削除(D)
-  画面表示スタイル初期化(Y)

3-1. 表示・編集グループ

<1> 表示・編集グループ

ログインユーザーの所属するグループ名が表示されます。

 表示・編集グループ ○○○課

<2> 編集



… 編集権限が存在する数量集計表





… 編集権限が存在しない数量集計表

3-2. 数量集計表管理

数量集計表の分類や管理をすることができます。



並べ替えについて

「工事番号」、「更新日時」等の表示項目をクリックして、 昇順、 降順に並び替えることができます。

編集	タグ	工事名称	発注者	更新日時
		サンプル設計書2	○○市町村	2016/12/05 15:21
		サンプル設計書1	○○市町村	2016/12/05 15:21
		サンプル設計書	○○市町村	2016/12/05 14:11

<1> 数量集計表情報

数量集計表管理

絞り込み表示 タグ付け設定

すべての数量集計表 (4)

☒ 数量集計表情報

- ☒ 所有数量集計表
- ☐ 最近編集した数量集計表
- ☐ 編集権限あり
- ☐ 編集権限なし
- ☐ 工事年度:今年度
- ☐ 工事年度:過去3年度

『○○課』グループ共有タグ

『一般ユーザーさん』専用タグ

全てのチェックを外す(C)

数量集計表情報はシステム内で用意されたタグです。
数量集計表の作成情報によって分類します。

- ・ 所有数量集計表 : ログインユーザーが所有する数量集計表
- ・ 最近編集した数量集計表 : 過去3ヶ月以内に編集した数量集計表
- ・ 編集権限あり : 編集可能な数量集計表
- ・ 編集権限なし : 閲覧のみ可能な数量集計表
- ・ 工事年度 : 年度情報で分類します
年度は4月に切り替わります

<2> グループ共有タグ・ユーザータグ

2種類のタグを数量集計表に紐付けることで、所有数量集計表を任意に分類することができます。

※グループ共有タグはグループによっては、使用できない場合があります。

- グループ共有タグ・・・同じグループ内で共有できます。
- ユーザータグ・・・タグを作成したユーザーのみの設定です。

タグ付けを行うには、リストから設定対象の数量集計表を選択し『タグ付け設定』タブ内で紐付けるタグにチェックを付けます。紐付けを解除する場合はチェックを外します。

使用するタグは編集画面で任意に作成でき、階層化して表示することもできます。

選択中の数量集計表に対し紐付けるタグにチェックを付け、『タグ編集』ボタンをクリックします。

任意のタグをツリー形式で作成・編集・削除できます。表示順の変更や位置の移動も可能です。

<3> 絞り込み表示

数量集計表に対してタグ付けを行っておくと、数量集計表情報やタグを使ってリストに表示する数量集計表を絞り込むことができます。


絞り込みを行うには、『絞り込み表示』タブ内のコンボボックスで表示対象を選択し、対象のタグにチェックを付けます。絞り込みを解除する場合はチェックを外します。

表示対象の数量集計表を選択します。

絞り込み対象のタグにチェックを付けます。

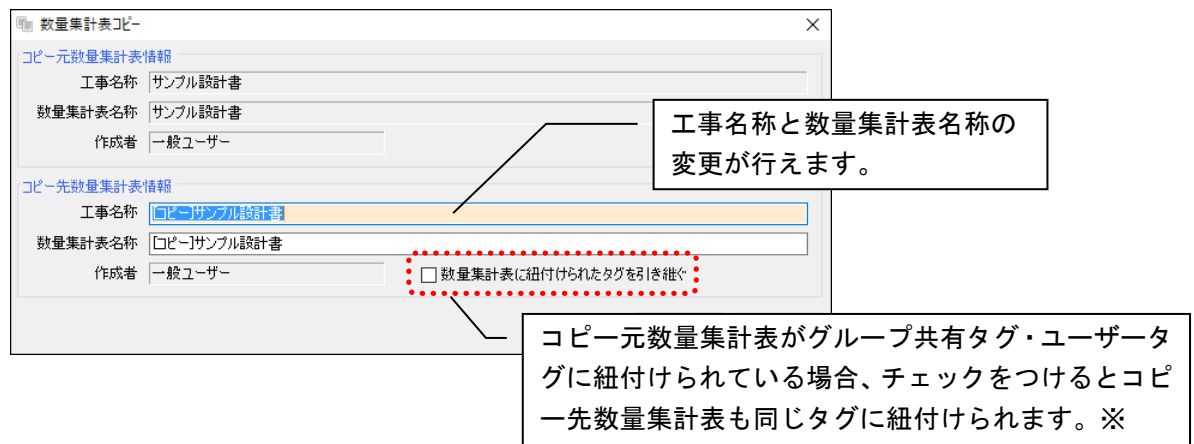
3-3. 数量集計表のコピー

選択した数量集計表の「数量集計表コピー」画面が表示され、数量集計表のコピーができます。

■ ツールバー :  ボタン

■ メニュー : 『ファイル(F)』 - 『数量集計表コピー(C)』

■ 右クリック : 『数量集計表コピー(C)』



※  「[3-2.<2> グループ共有タグ・ユーザータグ](#)」

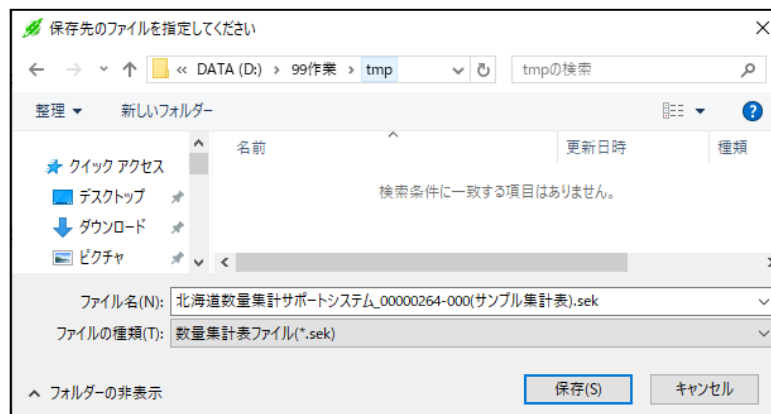
3-4. 数量集計表のエクスポート・インポート

選択した数量集計表をファイルに出力したり、出力した数量集計表ファイルをインポートしたりできます。

<1> 数量集計表のエクスポート

■ ツールバー :  ボタン

■ メニュー : 『ファイル(F)』 - 『数量集計表エクスポート(E)』

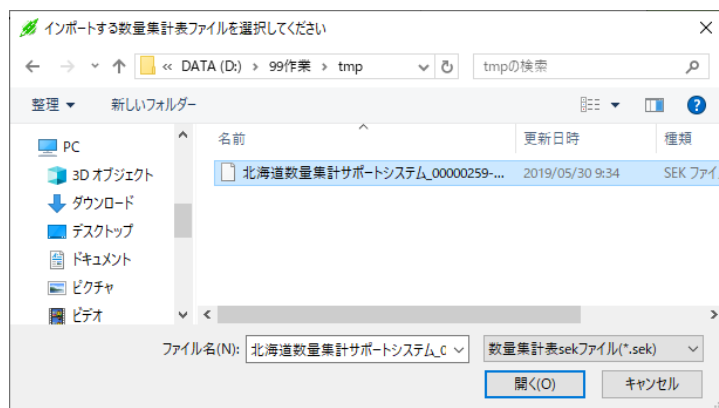


「数量集計表ファイル保存」画面が表示されます。

< 2 > 数量集計表のインポート

■ ツールバー:  ボタン

■ メニュー: 『ファイル(F)』 - 『数量集計表インポート(I)』



「数量集計表ファイル選択」画面が表示されます。

3-5. 数量集計表の削除

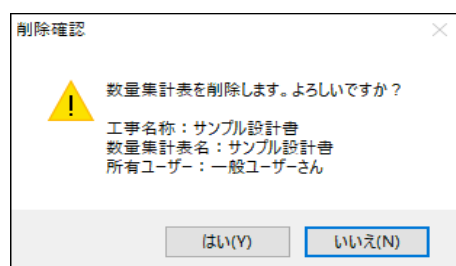
選択した数量集計表の「削除確認」画面が表示されます。表示された数量集計表ファイル名を確認後、削除して下さい。

< 1 > 数量集計表一覧からごみ箱へ削除

■ ツールバー:  ボタン

■ メニュー: 『ファイル(F)』 - 『数量集計表削除(D)』

■ 右クリック: 『数量集計表削除(D)』



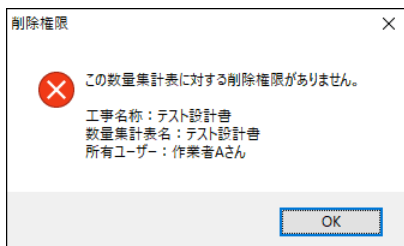
削除した数量集計表は、ごみ箱に移動します。

数量集計表管理の『絞り込み表示』タブ内でコンボボックスから「ごみ箱」を選択すると、削除した数量集計表がリスト表示されます。

数量集計表管理		編集	タグ	工事名称	工事年度	工種
絞り込み表示	タグ付け設定			サンプル工事	2018年	北海道建設部 土木工事(平成30年10月) サンプル
ごみ箱 (2)				サンプル工事	2018年	北海道建設部 土木工事(平成30年10月) サンプル
自動削除						



所有権のない数量集計表を削除すると、[削除権限] 画面が表示されます。
所有権のない数量集計表は、削除できません。



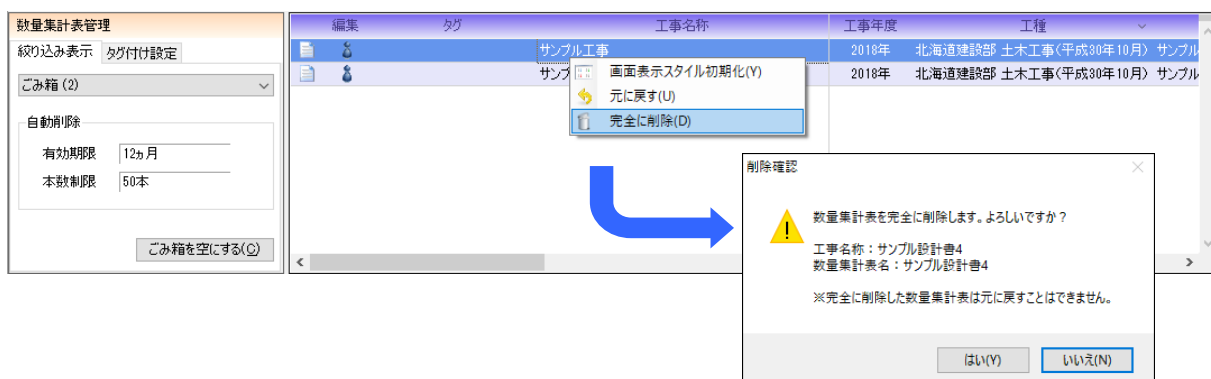
< 2 > ごみ箱から完全削除

1. ごみ箱の特定の数量集計表を削除

ごみ箱内にある数量集計表一覧の中から、削除したい数量集計表を選択して削除します。

■右クリック：『完全に削除』

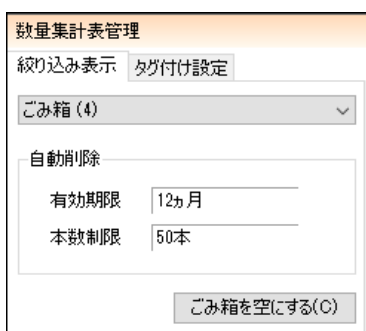
[削除確認] 画面が表示されるので、数量集計表ファイル名を確認後、削除して下さい。
※ごみ箱から削除した数量集計表は、元に戻すことができません。



キーでの操作方法

削除：【Delete】

2. ゴミ箱の中を一括削除



数量集計表管理の『絞り込み表示』タグ内『ごみ箱を空にする』ボタンをクリックします。

[削除確認] 画面が表示されるので、確認後に削除して下さい。

※ごみ箱から削除した数量集計表は、元に戻すことができません。



ゴミ箱内数量集計表の有効期限及び最大ファイル数による自動削除

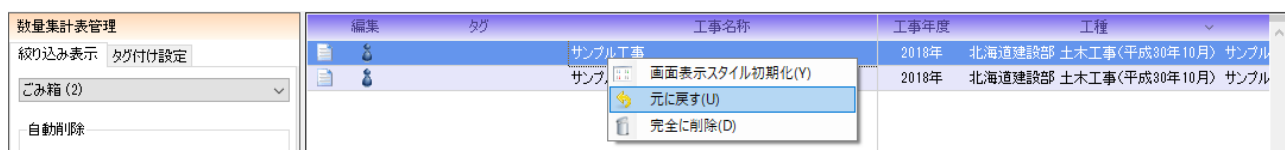
「ゴミ箱」を表示している時、数量集計表管理に「自動削除」に関する設定情報が表示されている場合は、ゴミ箱内の数量集計表について、削除日から一定の日数が経過した、又はあるファイル数がゴミ箱内に存在する、もしくはその両方で自動削除が行われます。

設定は環境設定で変更できます。

3-6. 数量集計表の復旧

ゴミ箱内にある数量集計表一覧で選択した数量集計表がリストに復旧します。

■右クリック：『元に戻す』



3-7. タグ表示

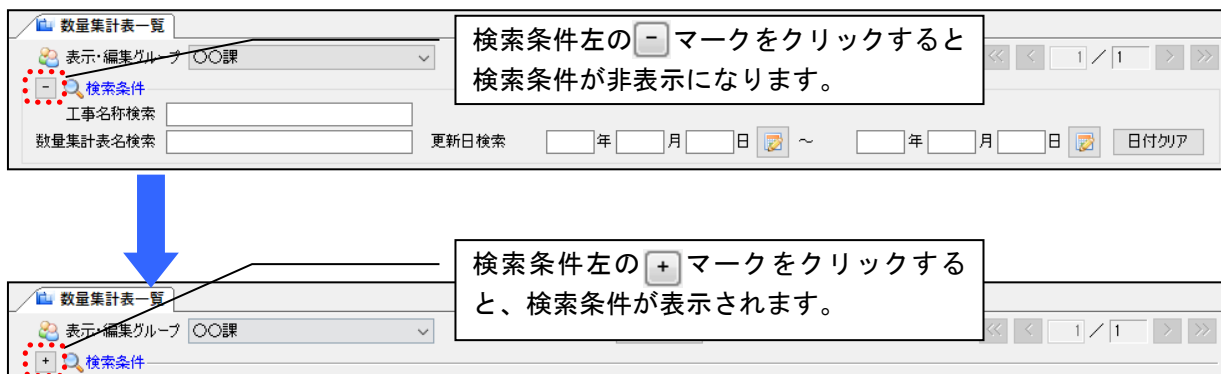
数量集計表管理の表示・非表示の状態が切り替わります。



■ツールバー：タグ表示ボタン

3-8. 検索条件表示切り替え

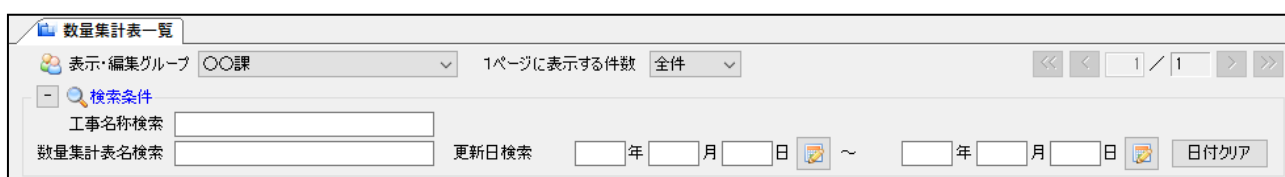
検索条件の表示・非表示を切り替えることができます。



3-9. 検索

検索条件を入力することで、数量集計表の検索ができます。

検索結果はリストに表示されます。



< 1 > 工事名称検索


工事名称の一部を入力することで検索できます。

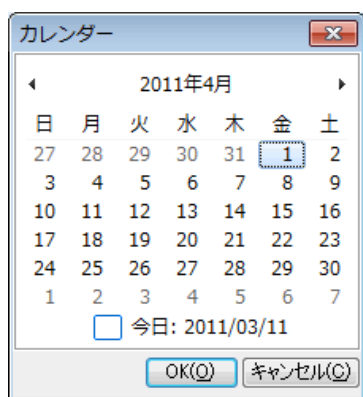
< 2 > 数量集計表名称検索

数量集計表名の一部を入力することで検索できます。

< 3 > 更新日検索

数量集計表ファイルの更新日の期間で検索することができます。


更新日を入力するか、 ボタンをクリックするとカレンダーが表示されますので、日付の選択をします。



4. 数量集計表作成

新規で作成する数量集計表の工事情報や数量集計表情報及び使用するデータ（工種）の設定を行います。



■ツールバー：  ボタン

■メニュー：『ファイル(F)』－『新規作成(N)』

『作成(O)』・・・入力した情報を有効にして、[集計表情報設定] 画面へと進みます。

『キャンセル(C)』・・・処理を中止して[数量集計表一覧] 画面に戻ります。

[集計表情報設定] 画面で、発注者名の設定および地区情報の設定を行い、『OK(O)』ボタンをクリックすると、[内訳構成] 画面が表示されます。

4-1. 工事情報

工事情報	
工事名称	<input type="text"/>
工事年度	<input type="text" value="2018"/> 年度

「工事名称」、「工事番号」を任意に入力します。

「工事年度」は自動的に表示されますが、編集可能です。

4-2. 数量集計表情報

数量集計表情報	
数量集計表名	<input type="text"/>

「数量集計表名」を任意に入力します。

「工事名称」を入力している場合は、同じものが自動的に表示されます。編集可能です。

4-3. 使用するデータ

使用するデータ	
工種	<input type="text" value="北海道建設部 土木工事(平成28年10月)"/>

コンボボックスより選択できます。


「工種」を設定します。

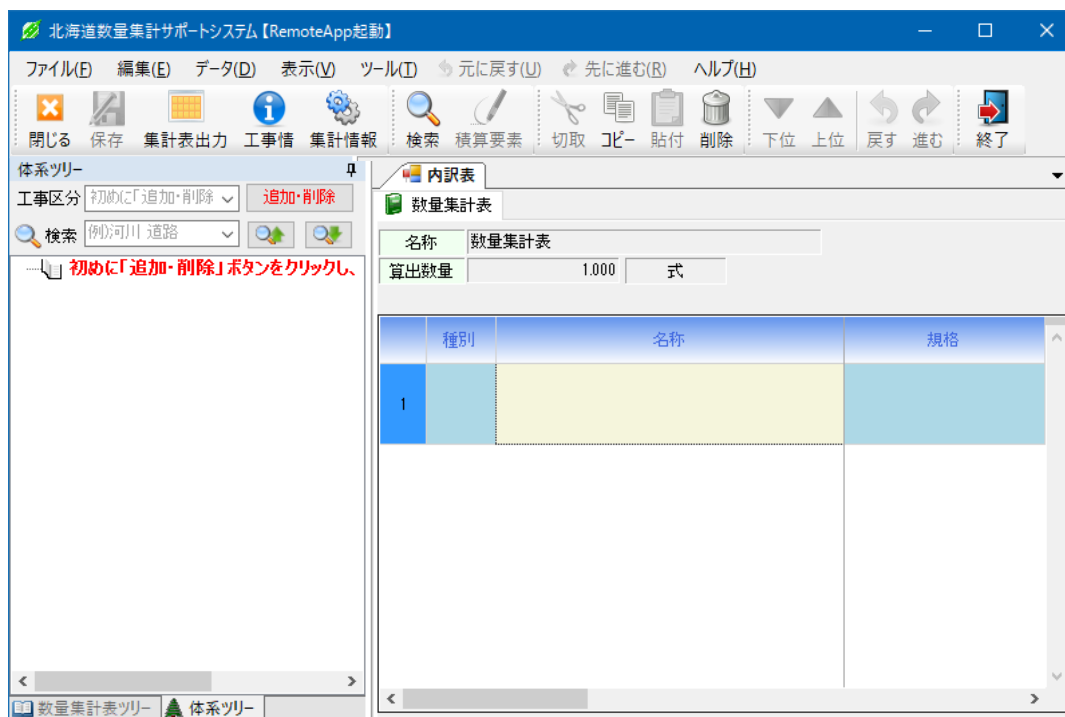
コンボボックスに表示される項目の中から任意のものを選択して下さい。

5. 内訳構成

5-1. 内訳構成画面

数量集計表を開くと「内訳構成」画面が表示されます。

- ツールバー：  ボタン
- メニュー：『ファイル(F)』－『開く(O)』
- 右クリック：『開く(O)』



< 1 > 数量集計表画面

数量集計表新規作成時や既存数量集計表を開いた際に表示される画面です。体系レベル1から体系内訳表までを積み上げられます。

内訳表											
数量集計表											
名称 数量集計表											
算出数量 1.000 式											
種別	名称	規格	単位	数量			内訳	備考	標準数値	追加条件1 追加条件2	数量まるめ備考
				まるめ前合計	合計		別取				
1	① 盛埋・護岸 工種		式	1	1	1					
2	② 河川土工 工種		式	1	1	1					
3	③ 掘削工 工種		式	1	1	1					
4	④ 掘削 体系内訳	土質:	m3	10.000	10.000	10.000			100	1,000未満の場合10 有効数値1桁	但し岩の場合は10
5	⑤ 土砂等運搬 体系内訳	土質:、運搬距離:	m3	0.000	0.000	0.000			10	有効数値1桁	
6	⑥ 軽量盛土工 工種		式	1	1	1					

< 2 > 内訳数量表画面

[数量集計表] 画面で採用された体系内訳の中の積み上げ内容を表示する 1 階層下の画面です。

種別	名称	規格	数量区分	単位	数量	備考
1	掘削		土質:土砂、施工方法:オーフカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土80,000m3未満又湿地軟弱土	m3	10.000	
2	ベルトコンベヤ(ボート)併用掘削(床掘削)		土質:土砂、ベルトコンベヤ掘削状態:水平掘削、ベルトコンベヤ使用台数:1~2台	m3	20.000	
3	独自積算要素				5.000	
4						

5-2. 画面の表示項目

< 1 > 行番号

各行の左端に行の番号が表示されます。

	種別	名称	規格	単位	数量			内訳別紙	備考
					まるめ後合計	合計			
1	工種	築堤・護岸		式	0.000	0.000	0.000		
2	工種	河川土工		式	1	1	1		
3	工種	掘削工		式	1	1	1		
4	体系内訳	掘削		m3	10.000	10.000	10.000		



『行番号』 ボタンをクリックすると下記のように動作します。


- ・条件の存在する項目（施工パッケージ）・・・施工パッケージ条件設定・修正
- ・条件のない項目（内訳表等）・・・下位構成を開く
- ・下位の構成がない項目（工種・積算要素等）・・・動作しない


< 2 > 種別



データの種類ごとにアイコンが表示されます。


工 種	
 工種	レベル 1

	レベル 2
	レベル 3

内訳表	
	体系内訳表

歩 掛	
	単価表

施工パッケージ	
	施工パッケージ（条件未設定）
	施工パッケージ（条件設定済）

積算要素	
	積算要素

< 3 > 名称

名称を表示します。

最大入力可能文字数・・・全角 20 文字（半角 40 文字）

< 4 > 規格

規格を表示します。

【Shift】＋【Enter】キーで改行ができます。

最大入力可能文字数・・・全角 60 文字（半角 120 文字）

< 5 > 単位


単位を表示します。

最大入力可能文字数・・・全角 4 文字（半角 8 文字）

< 6 > 数量

小数点以下第 3 位までの数量を表示します。

※体系化集計表エクセルファイルに出力時は、シートによって小数点以下表示桁が異なります。

 「[1 0-2. < 1 > 3 内訳数量表シート](#)」

< 7 > 備考

ユーザーが自由に記載する欄です。

【Shift】＋【Enter】キーで改行ができます。


最大入力可能文字数・・・全角 60 文字（半角 120 文字）

< 8 > 内訳別紙

体系内訳行にのみ内訳別紙出力設定アイコンを表示します。

体系化集計表出力時、内訳別紙として〔内訳数量表〕画面内容を出力するかどうか設定します。

※〔数量集計表〕画面のみ存在します。

 「[5-4. < 1 > 4 内訳別紙](#)」「[1 0-2. < 1 > 3 内訳数量表シート](#)」

< 9 > 数量区分

施工パッケージ（条件設定済）行のみ、数量区分に条件設定内容を表示します。

※〔内訳数量表〕画面のみ存在します。

< 1 0 > 数量まるめ

数量まるめに関する設定を行います。


※〔数量集計表〕画面のみ存在します。

 「[5-4. < 1 > 5 数量まるめ](#)」


5-3. 画面切り替え

< 1 > 下位構成







下位構成を開きます。

- ツールバー :  ボタン
■ メニュー : 『表示(V)』 - 『下位構成(L)』

内訳表

数量集計表 


名称 数量集計表
算出数量 1.000 式

	種別	名称	規格					
1	 工種	築堤・護岸						
2	 工種	河川土工		式	1	1	1	
3	 工種	掘削工		式	1	1	1	
4	 体系内訳			m3	10.000	10.000	10.000	

「数量集計表」画面で体系内訳表の行を選択すると、その『内訳表名』タブが追加されます。
タブをクリックします。

「下位構成」


内訳表

数量集計表 

名称 掘削
算出数量 1.000 m3

☐ 内訳図表を出力する


規格

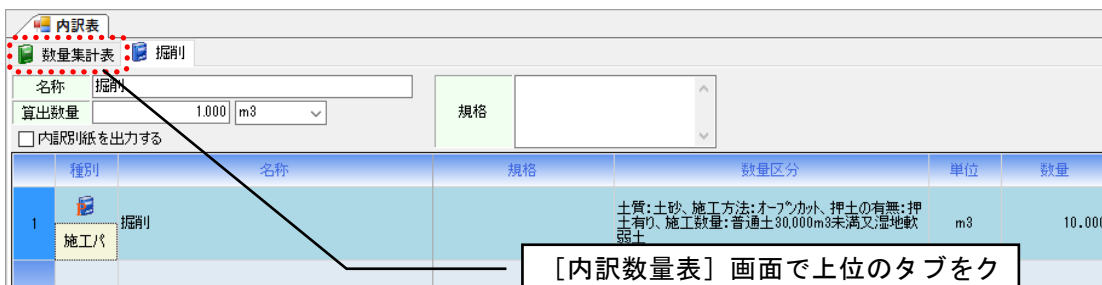
	種別	名称	規格					
1	 施工バ	掘削		土質:土砂、施工方法:オフカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土30,000m3未満又湿地軟弱土	m3	10.000		

「内訳数量表」画面が表示されます。

< 2 > 上位構成

上位構成を開きます。

- ツールバー：  ボタン
■ メニュー：『表示(V)』 - 『上位構成(U)』




「内訳数量表」画面で上位のタブをクリックすると、[数量集計表]画面が表示されます。

5-4. 内訳構成画面編集

構成行の編集を行います。


< 1 > 構成行編集

1. 名称・規格・備考・数量まるめ備考


	種別	名称	規格	単位	数量			内訳別紙
					まるめ後合計	合計		
4	体系内訳	掘削		m3	10.000	10.000	10.000	

変更箇所を選択すると、直接入力ができます。
なお、ここで変更した内容はこの数量集計表でのみ反映されます。

※数量区分は編集できません。

 **ポイント**

規格欄・備考欄の複数行入力
[数量集計表]画面の規格欄・備考欄・数量まるめ備考欄は複数行入力できます。
改行：【Shift】＋【Enter】キー



2. 単位

	種別	名称	規格	単位	数量		
					まるめ後合計	合計	
4	体系内訳	掘削		m3	10.000	10.000	10.000
				m3	0.000	0.000	0.000
				kg	1	1	1

単位欄が選択されている状態で、▼をクリックすると単位のコンボボックスが表示されますので、任意の単位を選択することができます。



単位欄のコンボボックスに任意の単位がない場合

単位欄を入力状態にして、直接文字を入力します。

単位欄をダブルクリックするか、単位欄を選択している状態で【Enter】キー、又は【F2】キーを押すと、入力状態にすることが出来ます。



編集できない単位

工種、施工パッケージ（条件設定済）の単位は編集できません。

3. 数量

	種別	名称	規格	単位	数量		
					まるめ後合計	合計	
4	体系内訳	掘削		m3	10.000	10.000	10.000

ダブルクリック又は【Enter】キーを押すと直接入力することができます。

数量入力欄が入力可能状態の場合に、右クリックすると電卓機能を使用することができます。
『OK(O)』を選択すると数量入力欄に反映されます。

但し、種別が「工種」の構成行では、数量は「1」か「0」のみ入力可能です。工種行にはレベルがあり、上位から「V」→「W」→「X」となっています。

	種別	名称	規格	単位	数量		
					まるめ後合計	合計	
1	工種	掘削・護岸		式	0.000	0.000	0.000
2	工種	河川土工		式	1	1	1
3	工種	掘削工		式	1	1	1
4	体系内訳	掘削		m3	10.000	10.000	10.000



「5-2.<2> 種別」

4. 内訳別紙

内訳別紙の出力状態を設定します。

■メニュー：『編集(E)』－『内訳別紙出力指定(S)』

- －『選択行細目 (Lv4) を出力する(O)』
- －『選択行細目 (Lv4) を出力しない(N)』

■右クリック：『内訳別紙出力指定(S)』

- －『選択行細目 (Lv4) を出力する(O)』
- －『選択行細目 (Lv4) を出力しない(N)』

	種別	名称	規格	単位	数量			内訳別紙
					まるめ後合計	合計		
4	体系内訳	掘削		m3	10.000	10.000	10.000	
<div> ・・・内訳別紙を出力する </div> <div> ・・・内訳別紙を出力しない </div>								

ダブルクリックすると出力設定が切り替わります。

参照

「10-2.<1>3 内訳数量表シート」



内訳表別紙出力をまとめて指定する

〔数量集計表〕画面を開き、まとめて内訳別紙出力指定をする。



種別	名称	規格	単位	数量			内訳	
				まるめ後合計	合計			
1	 築堤・護岸		式	1		1		
2	 河川土工		式	1	1	1		
3	 掘削工(流閉土1)		式	1	1	1		
4	 掘削	土質:	m3	0.000	0.000	0.000		
5	 体系内訳							
6	 工種	乾置盛土工	式	1	1	1		
7	 工種	乾置盛土工	式	1	1	1		
8	 体系内訳	乾置盛土工	乾置盛土工-土質1の仕様:	m3	0.000	0.000	0.000	
9	 工種	陸置盛土工	式	1	1	1		
10	 工種	作業土工	式	1	1	1		
11	 体系内訳	岸固り	岸固り-土質1の仕様:	m3	0.000	0.000	0.000	
12								

No.	種別	名称	規格	単位	数量			内訳別紙
					まるめ後合計	合計	数量	
1	 工種	築堤・護岸		式	1	1	1	
2	 工種	河川土工		式	1	1	1	
3	 工種	掘削工(流閉土1)		式	1	1	1	
4	 体系内訳	掘削	土質:	m3	0.000	0.000	0.000	
5	 工種	掘削盛土工		式	1	1	1	
6	 工種	掘削盛土工		式	1	1	1	
7	 体系内訳	掘削盛土	築造方法-0.17m以下規格:	m3	0.000	0.000	0.000	
8	 工種	掘削盛土工		式	1	1	1	
9	 工種	作業土工		式	1	1	1	
10	 体系内訳	岸固り	岸固り工法の使用:	m3	0.000	0.000	0.000	

5. 数量まるめ

数量まるめを設定します。

種別	名称	規格	単位	まるめ後合計	数量合計	内訳別	備考	標準数値	追加条件1 追加条件2
4	体系内訳	掘削	土質:	m3	10.000	10.000	10.000	100	1,000未満の場合10 有効数値1桁
5	体系内訳	土砂等運搬	土質・運搬距離:	m3	0.000	0.000	0.000	1000	有効数値1桁
6	工		式	1	1	1		1 10 1 0.1 0.01 0.001	

設定したまるめ処理が行われた合計値が表示されます。

標準数値・追加条件1・追加条件2を選択します。

例)

■標準数値でのまるめ

種別	名称	規格	単位	まるめ後合計	数量合計	内訳別	備考	標準数値	追加条件1 追加条件2
4	体系内訳	掘削	土質:	m3	900.000	911.000	911.000	100	有効数値1桁

追加条件1は未設定なので100位止めのまるめが行われます。

標準数値で100を選択します。

■追加条件1でのまるめ

種別	名称	規格	単位	まるめ後合計	数量合計	内訳別	備考	標準数値	追加条件1 追加条件2
4	体系内訳	掘削	土質:	m3	910.000	911.000	911.000	100	1,000未満の場合10 有効数値1桁

追加条件1に合致するため、10位止めのまるめが行われます。

追加条件1で「1000未満の場合10」を選択します。


< 2 > 内訳数量表ヘッダー編集

〔内訳数量表〕画面のヘッダーでも、名称・規格・算出数量・単位・内訳別紙出力設定を編集できます。ここでの編集内容は、シートの親構成行（〔数量集計表〕画面の該当構成行）にも反映されます。

種別	名称	規格	数量区分	単位	数量
			土質:土砂、施工方法:オフカット、押土の有無:押		


< 3 > 切り取り

〔内訳構成〕画面内の指定された範囲を消去して、記憶します。

- ツールバー:  ボタン
- メニュー: 『編集(E)』 - 『切り取り(T)』
- 右クリック: 『切り取り(T)』

< 4 > コピー

指定された範囲をコピー（記憶）します。


- ツールバー:  ボタン
- メニュー: 『編集(E)』 - 『コピー(C)』
- 右クリック: 『コピー(C)』

『切取』又は『コピー』ボタンをクリックすると、選択した行が赤い破線で囲われます。
【Esc】キーで解除できます。

種別	名称	規格	単位	数量	数量	数量	内訳別紙
				事前	後	合計	
1	工種	築堤・護岸	式	1	1	1	
2	工種	河川土工	式	1	1	1	
3	工種	掘削工(流用土1)	式	1	1	1	
4	体系内訳	掘削	土質: m3	0.000	0.000	0.000	

< 5 > 貼り付け

切り取り、又はコピーで記憶している範囲を貼り付けます。

- ツールバー :  ボタン
- メニュー : 『編集(E)』 - 『貼り付け(P)』
- 右クリック : 『貼り付け(P)』



ポイント

ショートカットキー

切り取り : 【Ctrl】 + 【X】

コピー : 【Ctrl】 + 【C】

貼り付け : 【Ctrl】 + 【V】

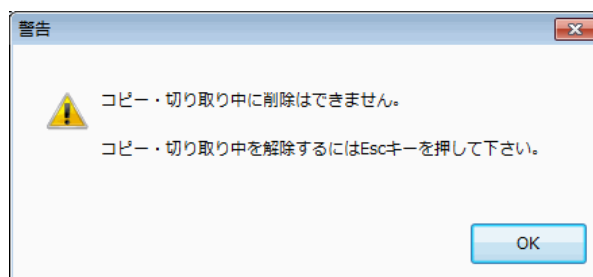


注意

コピー・切り取り中の警告


コピー・切り取り中に削除すると [警告] 画面が表示されます。

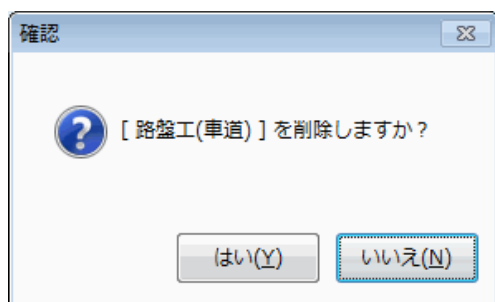
『OK』 ボタンをクリックし、【ESC】 キーを押して下さい。



< 6 > 削除

指定された範囲を消去します。

- ツールバー :  ボタン
- メニュー : 『編集(E)』 - 『削除(D)』
- 右クリック : 『削除(D)』



『はい(Y)』・・・指定した行を削除します。

『いいえ(N)』・・・処理を中止して元の画面に戻ります。



切り取りと削除の違い

「切り取り」の場合は、指定した行を削除し記憶されますので、指定した行の貼り付けが行えます。「削除」の場合は、指定した行が削除されるだけで、記憶されません。

行の移動を行う場合は、「切り取り」を行った後、任意の箇所で「貼り付け」を行って下さい。

キーでの操作方法

挿入：【Insert】

削除：【Delete】

その他の操作方法

また、構成行の編集機能はメニュー：『編集(E)』や右クリックメニューからも選択できます。



行をまとめて指定する

①指定する範囲の始点にポインタをあわせ、クリックします。

種別	名称	規格	数量区分	単位	数量
1 施工バ	掘削		土質:土砂、施工方法:オーブンカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土30,000m3未満又湿り軟弱土	m3	10,000
2 施工バ	ベルトコンベヤ(ホーカル)併用人力掘削(床掘り)		土質:土砂、ベルトコンベヤ据付状態:水平据付、ベルトコンベヤ使用台数:1~2台	m3	20,000
3 積算要素	独自積算要素				5,000
4					

②終点にポインタをあわせて、【Shift】+クリックで範囲指定します。

キー操作の場合は、【Shift】+【↑】【↓】キーで、範囲指定します。

種別	名称	規格	数量区分	単位	数量
1 施工バ	掘削		土質:土砂、施工方法:オーブンカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土30,000m3未満又湿り軟弱土	m3	10,000
2 施工バ	ベルトコンベヤ(ホーカル)併用人力掘削(床掘り)		土質:土砂、ベルトコンベヤ据付状態:水平据付、ベルトコンベヤ使用台数:1~2台	m3	20,000
3 積算要素	独自積算要素				5,000
4					

行を部分指定する

指定する行にポインタをあわせて、【Ctrl】+クリックします。

種別	名称	規格	数量区分	単位	数量
1 施工バ	掘削		土質:土砂、施工方法:オーブンカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土30,000m3未満又湿り軟弱土	m3	10,000
2 施工バ	ベルトコンベヤ(ホーカル)併用人力掘削(床掘り)		土質:土砂、ベルトコンベヤ据付状態:水平据付、ベルトコンベヤ使用台数:1~2台	m3	20,000
3 積算要素	独自積算要素				5,000
4					

全ての行を一括選択する

種別	名称	規格	数量区分	単位	数量
1 施工バ	掘削		土質:土砂、施工方法:オーブンカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土30,000m3未満又湿り軟弱土	m3	10,000
2 施工バ	ベルトコンベヤ(ホーカル)併用人力掘削(床掘り)		土質:土砂、ベルトコンベヤ据付状態:水平据付、ベルトコンベヤ使用台数:1~2台	m3	20,000
3 積算要素	独自積算要素				5,000
4					

左端をクリックすると構成内の全ての行を一括選択できます。

<7> 積算要素挿入

[内訳数量表] 画面の任意の場所に積算要素行を挿入します。



■ ツールバー： **積算要素** ボタン

■ メニュー：『データ(D)』－『積算要素挿入(L)』

■ 右クリック：『積算要素挿入(L)』

種別	名称	規格	数量区分	単位	数量
1	掘削		土質:土砂、施工方法:オープンカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土30,000m3未満又/湿り軟弱土	m3	10,000
2	掘削		土質:土砂、施工方法:オープンカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土30,000m3未満又/湿り軟弱土	m3	20,000

右クリック：『積算要素挿入(L)』をクリックします。

↓

種別	名称	規格	数量区分	単位	数量
1	掘削		土質:土砂、施工方法:オープンカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土30,000m3未満又/湿り軟弱土	m3	10,000
2	積算要素				1,000
3	掘削		土質:土砂、施工方法:オープンカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土30,000m3未満又/湿り軟弱土	m3	20,000

名称・規格・単位・数量・備考が全て未設定の行が追加されるので、任意の値を設定して下さい。

<8> 挿入

[内訳数量表] 画面の任意の場所に空白行を挿入します。

種別	名称	規格	数量区分	単位	数量
1	掘削		土質:土砂、施工方法:オープンカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土30,000m3未満又/湿り軟弱土	m3	10,000
2	掘削		土質:土砂、施工方法:オープンカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土30,000m3未満又/湿り軟弱土	m3	20,000

右クリック：『挿入(I)』をクリックします。


↓

種別	名称	規格	数量区分	単位	数量
1	掘削		土質:土砂、施工方法:オープンカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土30,000m3未満又/湿り軟弱土	m3	10,000
2					
3	掘削		土質:土砂、施工方法:オープンカット、押土の有無:押土有り、施工数量:普通土30,000m3未満又/湿り軟弱土	m3	20,000


選択行の1行上に空白行が挿入されます。

5-5. 検索

[数量集計表検索] 画面が表示され、数量集計表の検索が行えます。

■ ツールバー :  ボタン

■ メニュー : 『ツール(T)』 - 『数量集計表検索(S)』

 「[1.1. 検索](#)」

5-6. UNDO・REDO（元に戻す・先に進む）機能

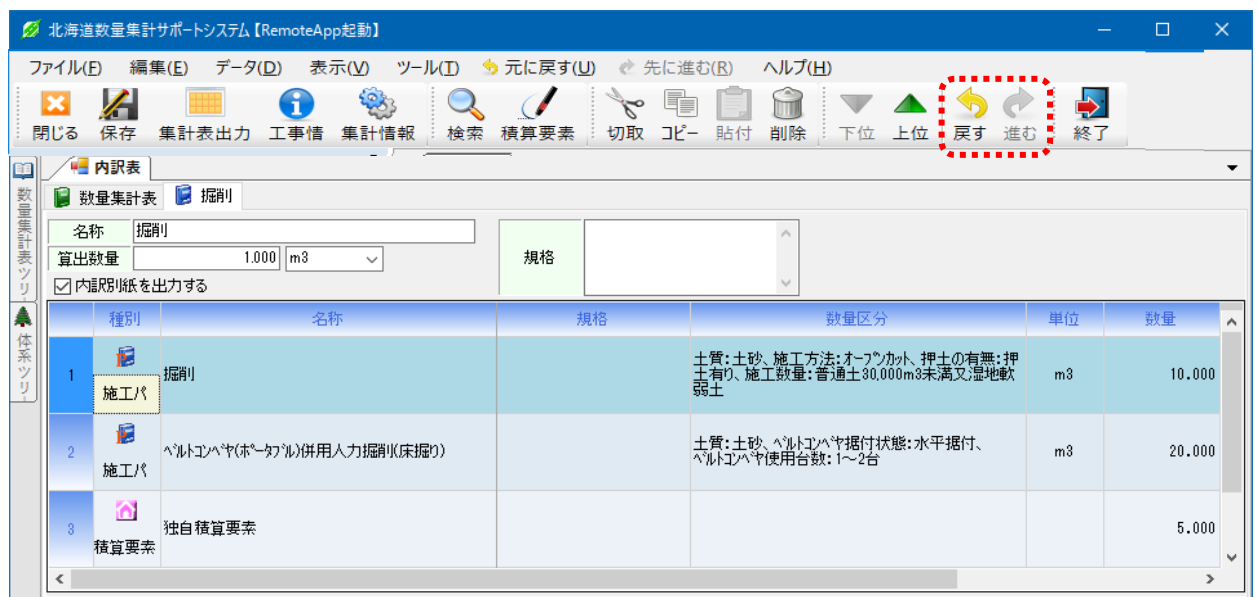
[内訳構成] 画面で編集した内容は、UNDO・REDOの機能が使用できます。

■ ツールバー :   ボタン

■ メニュー : 『元に戻す(U)』
『先に進む(R)』

『元に戻す』・・・1 操作元に戻します。

『先に進む』・・・1 操作やり直しをします。



6. 体系ツリー

『体系ツリー』タブを選択すると、[体系ツリー] 画面が表示されます。

■メニュー：『表示(V)』－『体系ツリー(A)』

■右クリック：『画面表示(S)』－『体系ツリー(A)』

6-1. レベル1の追加・削除

『追加・削除』ボタンをクリックし[工事区分(体系レベル1)の選択]画面から、体系レベル1の追加又は削除を行います。

The screenshot shows the 'System Tree' (体系ツリー) dialog box. The 'Initial Action' (初めに) dropdown is set to 'Add/Delete' (追加・削除). The 'Search' (検索) button is highlighted with a red dashed box. A blue arrow points from the 'Add/Delete' button to the 'Search' button.

Annotations:

- 名称を検索すると、候補が一覧に表示されます。行をダブルクリックすると画面右下の採用欄に追加できます。
- 採用する体系を選択し、『追加>>』ボタンをクリック、又は体系をダブルクリックします。
- 削除する体系を選択し、『<<削除』ボタンをクリック、又は体系をダブルクリックします。
- 体系の追加・削除が終了したら、『OK(O)』ボタンをクリックします。

The 'Search Results' (検索結果) table is shown below:

レベル	検索結果名称	レベル0	レベル1
2	河川土工	河川改修	築堤・護岸
2	河川土工	河川改修	樋門・樋管
2	河川土工	河川改修	水門
2	河川土工	河川改修	堰
2	河川土工	河川改修	排水機場
2	河川土工		
2	河川土工		

The 'System Tree' (体系) list on the left shows the following items:

- 河川改修
 - 築堤・護岸
 - 浸透(河川)
 - 樋門・樋管
 - 水門
 - 堰
 - 排水機場
- 床固め
- 設
- 締
- り対策
- 道路新設・改築
- 共同溝・電線共同溝
- 道路維持修繕・雪害

The 'Adoption' (採用) list on the right shows the following items:

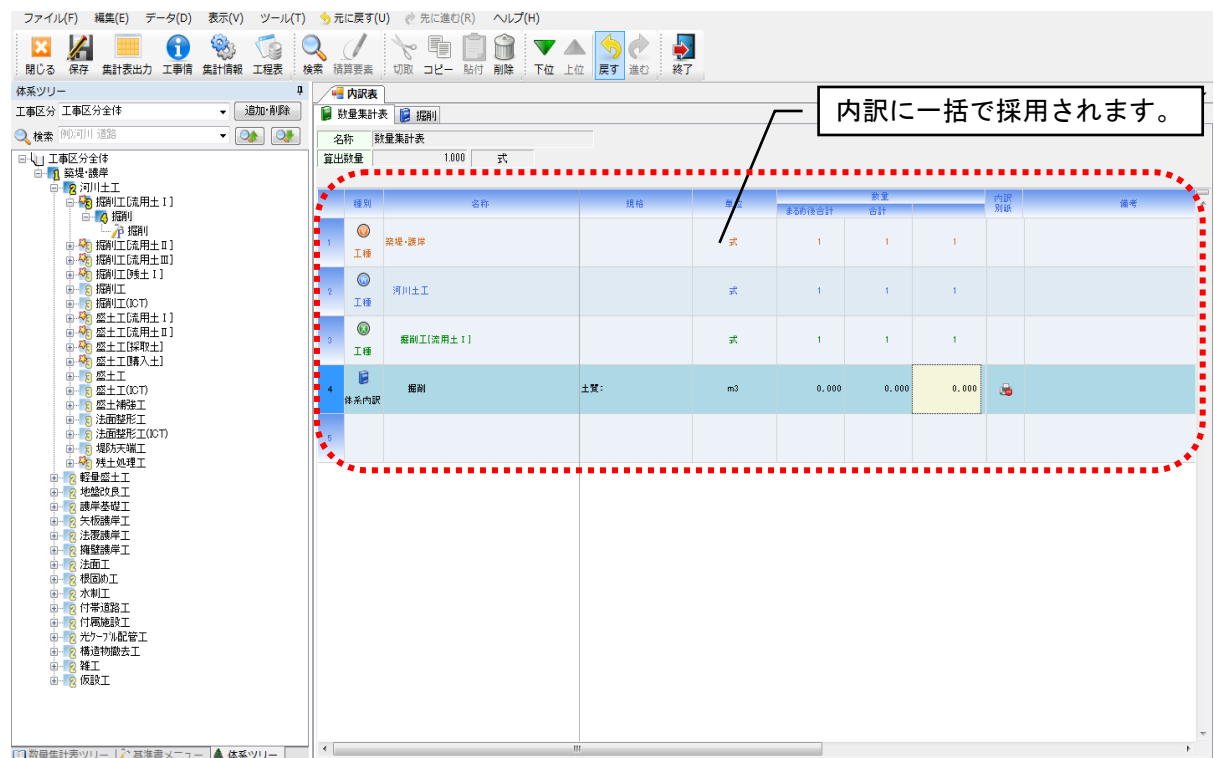
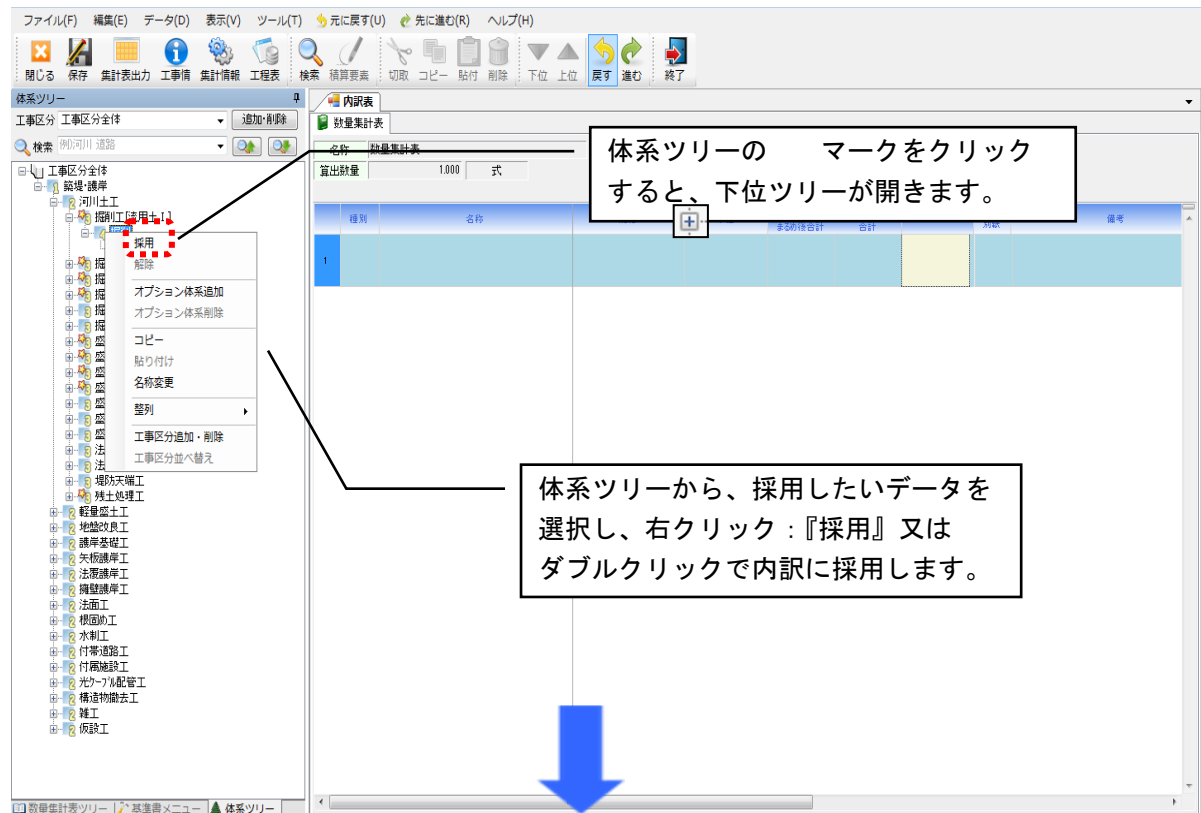
- 築堤・護岸

The 'Add' (追加) and 'Delete' (削除) buttons are highlighted with red dashed boxes. The 'OK(O)' and 'Cancel(C)' buttons are at the bottom right.

6-2. 体系の採用

追加した体系ツリーから工種・種別・細別・歩掛の採用を一括で行います。





■右クリック：『採用』





レベルのアイコンについて

体系ツリーのレベルのアイコンの数字は、下記のように分類されています。

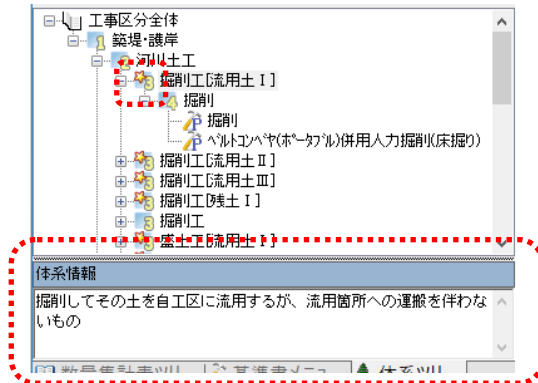
-  レベル 1：工事区分
-  レベル 2：工種
-  レベル 3：種別
-  レベル 4：細別



体系情報について

体系ツリーの項目で体系情報がある場合は下記のアイコンが表示されます、その項目を選択すると、体系ツリーの下部に体系情報が表示されます。

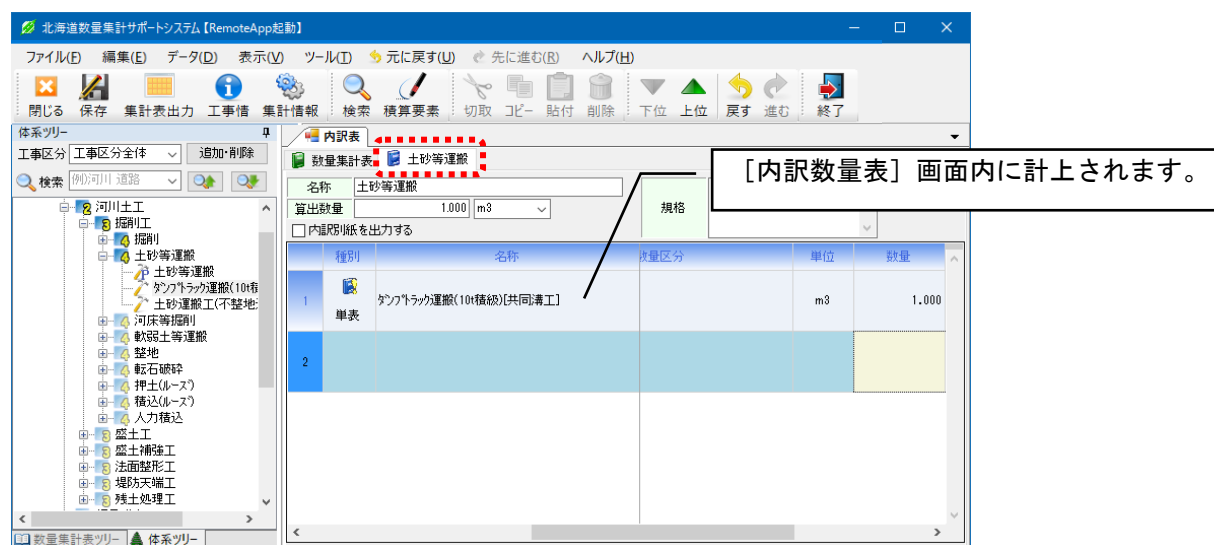
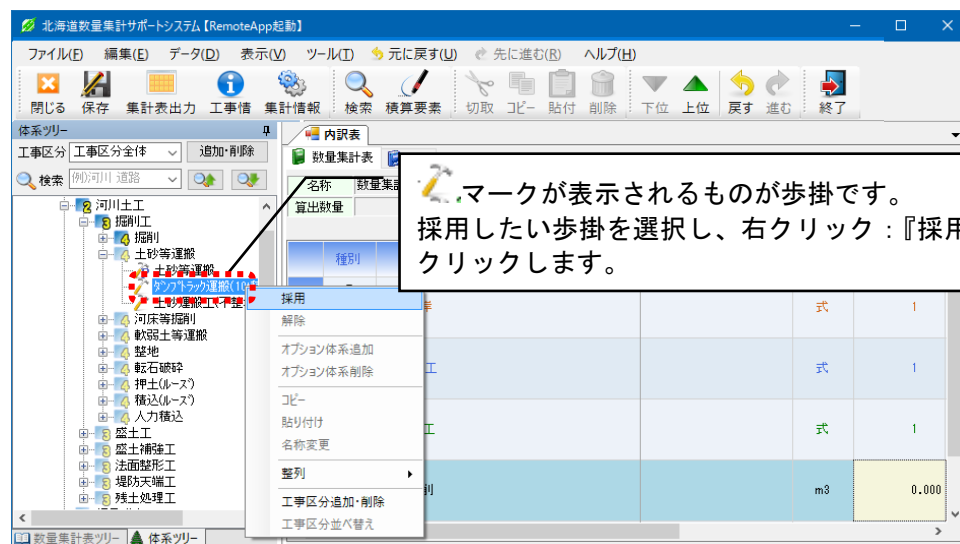
体系情報有



6-3. 歩掛の採用

歩掛は「内訳数量表」画面内に計上され、条件は未設定のまま採用されます。

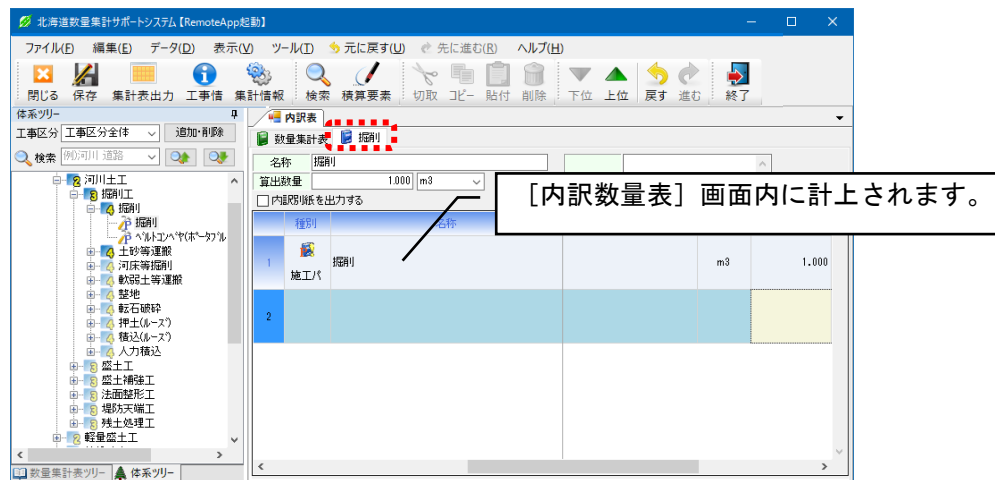
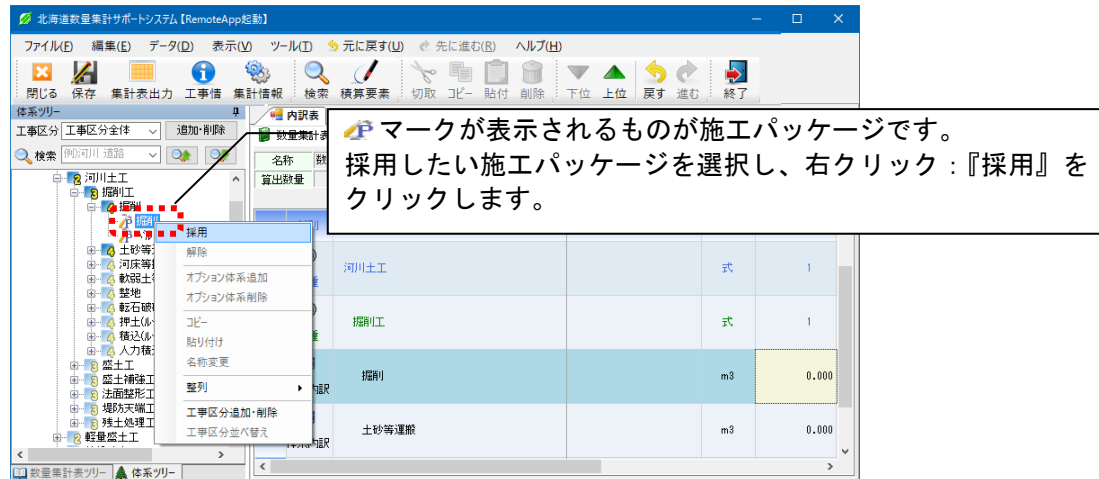
■右クリック：『採用』



6-4. 施工パッケージの採用

施工パッケージは「内訳数量表」画面内に計上され、条件は未設定のまま採用されます。

■右クリック：『採用』



施工パッケージの条件設定

施工パッケージは採用後、条件入力を行って下さい。

※歩掛は条件設定不要です

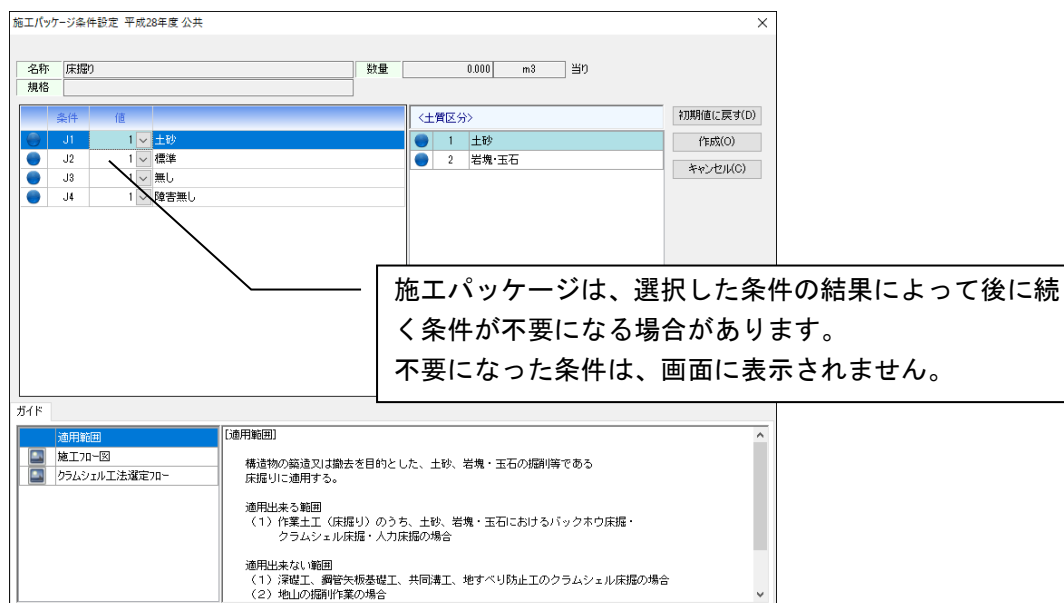
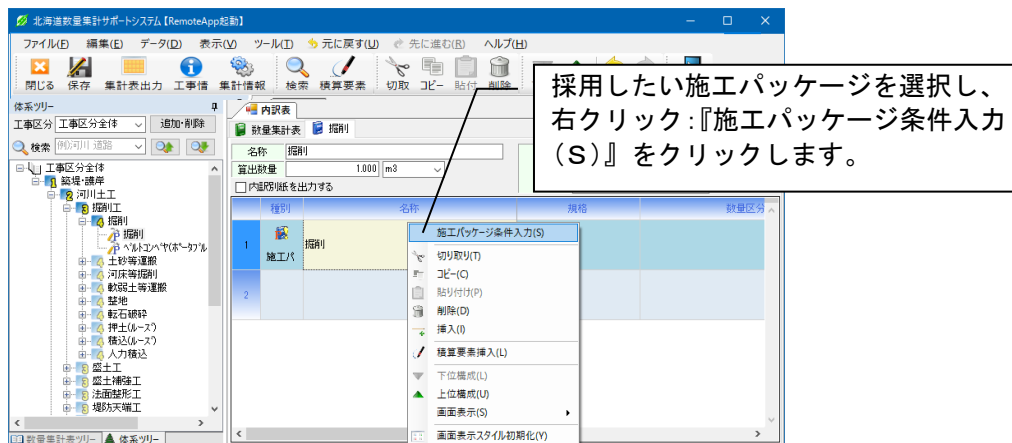
6-5. 施工パッケージの条件入力・修正

[内訳数量表] 画面を開き、[施工パッケージ条件設定] 画面から、条件の設定を行って下さい。

■メニュー：『データ(D)』－『施工パッケージ条件入力(S)』

■右クリック：『施工パッケージ条件入力(S)』

■行番号クリック



< 1 > 条件入力画面

1. タイトル

名称、規格、算出数量・単位が表示されます。

名称	床掘り	数量	0.000	m3	当り
規格					

2. 条件一覧

- ・ 値 選択条件番号又は、実数値の表示欄です。
- ・ 条件文字列 . . . 選択されている条件の文字列の表示欄です。実数入力条件の場合は、単位が表示されます。

● 選択条件

条件	値	条件文字列
✓ A	1	加へ型 山積 0.8m(平積 0.6)
✓ B	1	地山
✓ C	1	粘性土・砂・砂質土・粘質土
✓ D	1	障害無し
✓ X	3	排対型 2次基準
✓ W	0.000	潮待ち補正 (%)

選択条件の場合、右画面の選択肢リスト又は、「値」のコンボボックスから条件を選択します。

● 実数入力条件

条件	値	条件文字列
✓ A	1	各種
✓ B	1	1t車以下
✓ C	0.000	運搬車種 (t)
✖ D	0.000	片道運搬距離 (k.m)
✓ E	0.000	特大品割増
✓ F	2	悪路割増無し
✓ G	2	深夜割増無し

④ D条件の入力範囲

最小値: 0.000

最大値: 30.000

上記の範囲内で入力してください。

「値」の欄に入力を行います。
右クリックすると電卓が表示され、『OK』ボタンをクリックすると、電卓に入力された数値が採用されます。

D条件の行をクリックすると、右画面に実数入力範囲が表示されます。

3. ガイド

ガイドメッセージを表示します。

施工パッケージ条件設定 平成28年度 公共

名称 [床掘り] 数量 0.000 m3 当り

条件	値	条件文字列
J1	1	土砂
J2	1	標準
J3	1	無し
J4	1	障害無し

<土質区分>

1	土砂
2	岩塊・玉石

初期値に戻す(D) 作成(O) キャンセル(C)

ガイド

適用範囲

施工フロー図

クラムシェル工法適用フロー

適用範囲

構造物の筋違又は撤去を目的とした、土砂、岩塊・玉石の掘削等である。
床掘りに適用する。

適用出来る範囲

(1) 作業土工(床掘り)のうち、土砂、岩クラムシェル保護・人力床掘の場合

適用出来ない範囲

(1) 深掘工、鋼管矢板基礎工、共同溝工、
(2) 地山の掘削作業の場合

『ガイド』タブの適用範囲や条件を選択すると、そのガイドが画面右側に表示されます。

図が存在する場合、表示されるアイコンです。
アイコンをクリックすると、図が表示されます。

4. 作成

現在の設定で施工パッケージを作成し、内訳（構成）に自動採用されます。

5. キャンセル

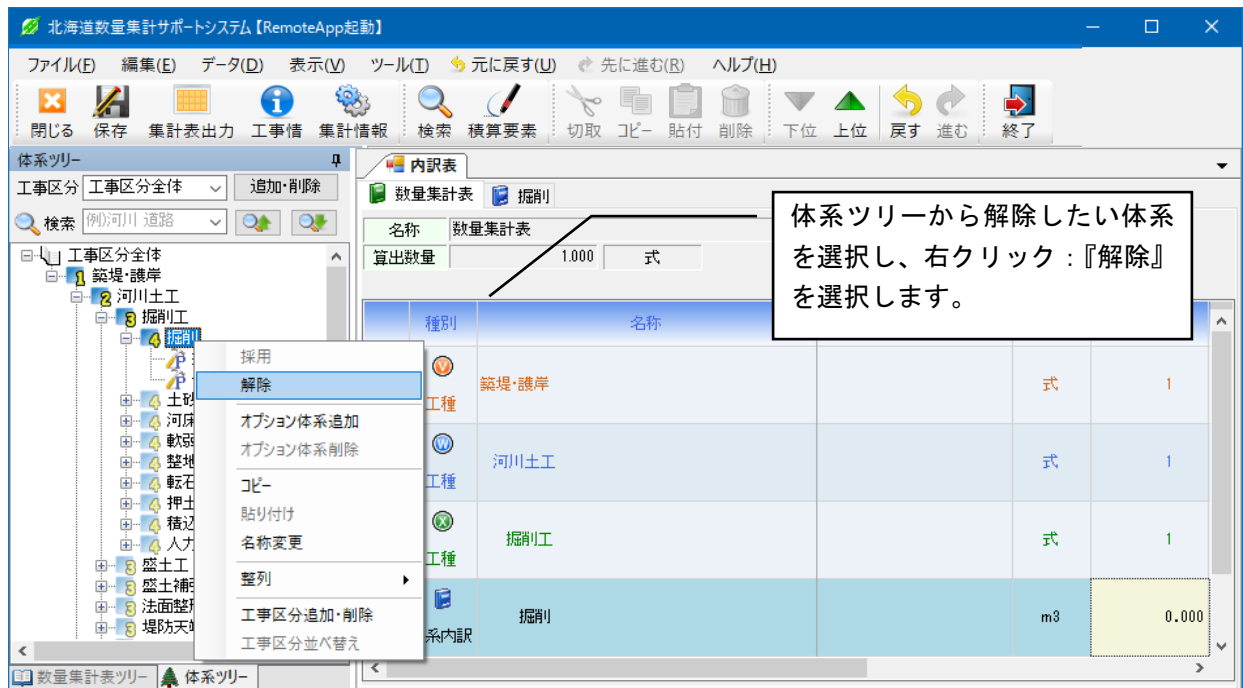
〔施工パッケージ条件設定〕画面を終了し、〔内訳構成〕画面に戻ります。

施工パッケージは作成されません。

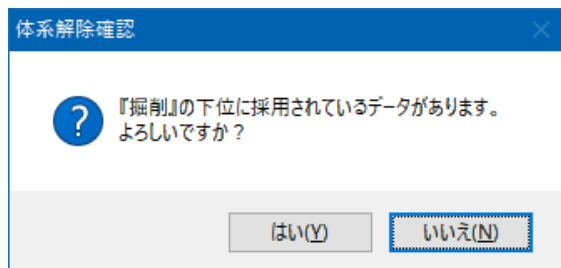
6-6. 解除

内訳（構成）に採用した体系の解除を行います。

■右クリック：『解除』



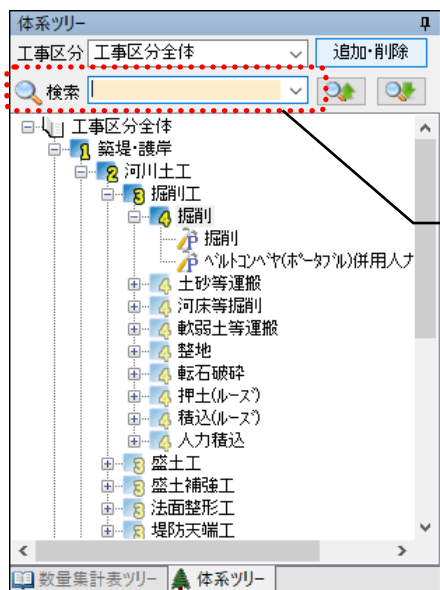
選択したレベル（工種・種別）に下位が存在する場合は、[体系解除確認] 画面が表示されます。





『はい(Y)』・・・下位のレベルまで一括解除します。

『いいえ(N)』・・・処理を中止して、元の画面に戻ります。

6-7. 検索



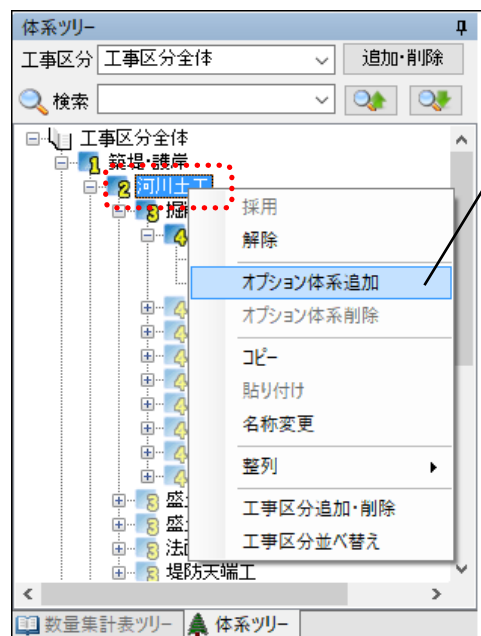
検索したい文字を入力し、（前へ検索）又は （次へ検索）ボタンで検索ができます。

6-8. オプション体系作成

<1> 追加

体系ツリーにないレベルの作成を行います。

■右クリック：『オプション体系追加』



体系を追加する箇所(レベル)を選択し、右クリック：『オプション体系追加』を選択します。

〔オプション体系の追加〕画面から、オプション体系の設定を行います。
追加するレベルにより、「名称の入力」や「追加する位置」の変更できる箇所が変わります。

オプション体系の追加

名称の入力

工事区分

工種

種別

細別

細別詳細

単位

追加する位置

☐ 選択行の上

☐ 選択行の下

☒ 選択行の下位

☒ 細別まで作成

☒ 作成後に採用

OK(O) キャンセル(C)

体系を追加する位置の指定が出来ます。

体系内訳書まで作成します。

工種・種別・細別を任意に入力します。

作成したオプション体系を内訳に自動採用します。

体系ツリー

工事区分

検索

工事区分全体

1 築堤・護岸

2 工種

3 種別

4 細別

2 河川土工

3 掘削工

4 掘削

ヘルコンパヤ(ホークル)併用入土

4 土砂等運搬

4 河床等掘削

4 軟弱土等運搬

4 整地

4 転石破碎

4 押土(ルース)

4 積込(ルース)

4 人力積込

盛土工

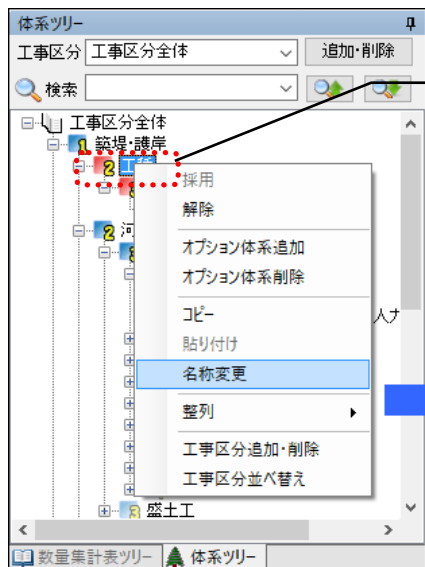
追加したオプション体系は赤色で表示されます。

数量集計表ツリー 体系ツリー

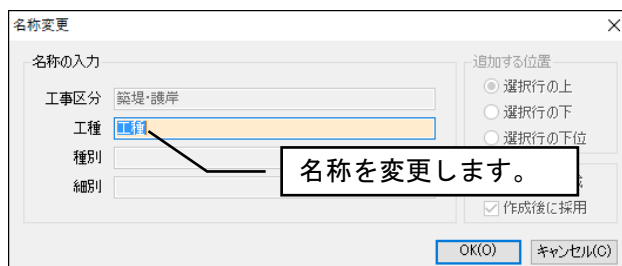
6-9. 名称変更

名称の変更を行います。

■右クリック：『名称変更』



変更する箇所（レベル）を選択し、
右クリック：『名称変更』を選択します。
[名称変更] 画面で変更を行います。

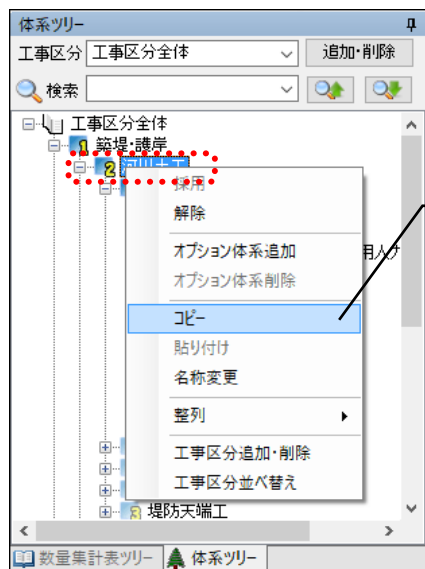


名称変更は構成行の名称欄、[内訳数量表] 画面のヘッダーでも行えます。

6-10. コピー・貼り付け

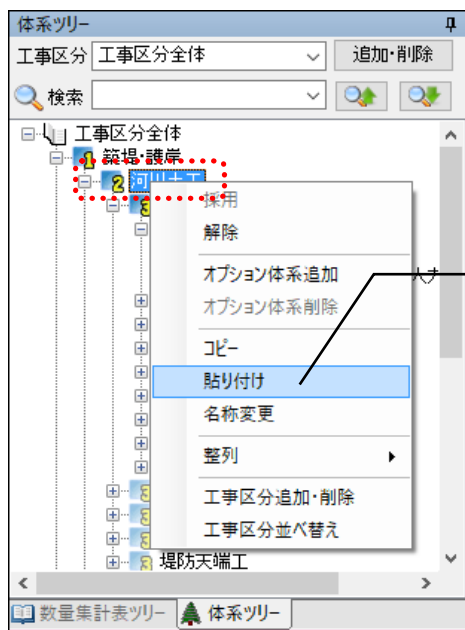
体系ツリーのコピーを行います。

■右クリック：『コピー』



コピーする箇所（レベル）を選択し、
右クリック：『コピー』を選択します。

■右クリック：『貼り付け』



貼り付ける箇所（レベル）を選択し、
右クリック：『貼り付け』を選択します。
[体系の貼り付け] 画面が表示されます。



体系の貼り付け

コピー元体系
工種 道路土工

貼り付け選択行
工事区分 道路改良
工種
種別
細別

貼り付け位置
☐ 選択行の上
☐ 選択行の下
☒ 選択行の下位

設定
☒ 下位も含む
☒ 未採用も含む
☒ 積算項目・歩掛も含む

OK(O)

下位の体系も貼り付け
ます。

内訳（構成）に採用し
ていない体系も貼り付
けます。

レベル 4 に付随している歩掛・施
工パッケージも貼り付けます。

体系を貼り付ける位置の指定が出来ます。
レベルにより、「貼り付け位置」が変わります。

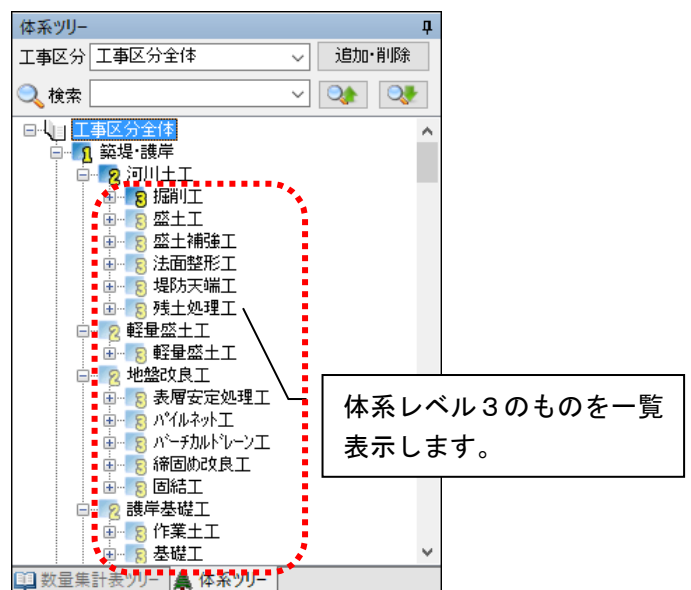
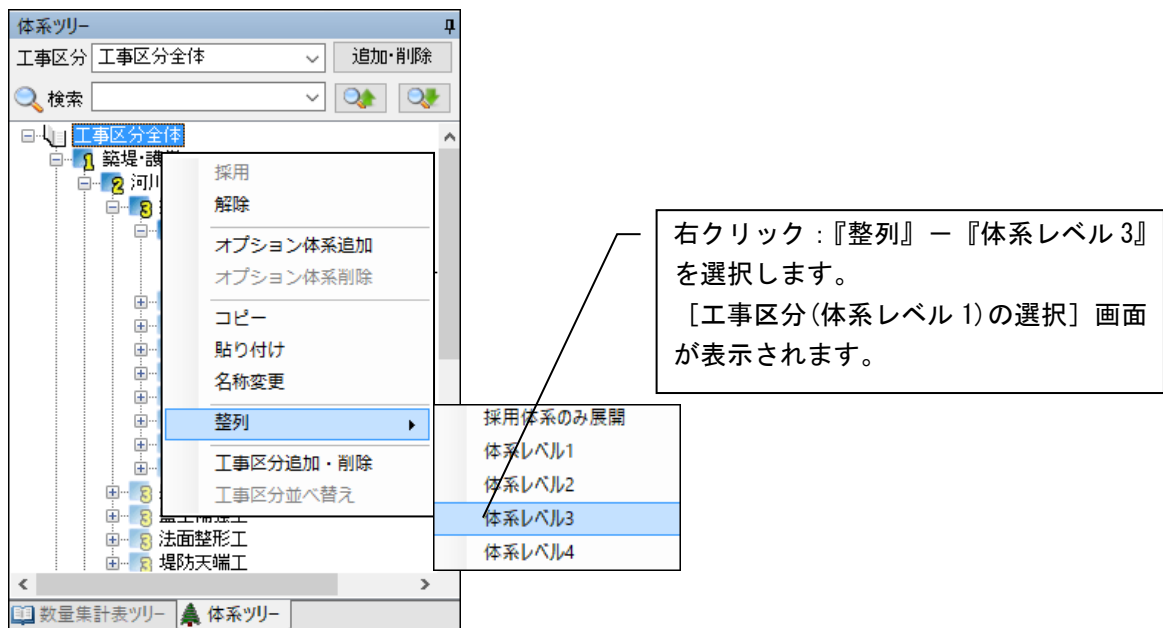


標準の体系を貼り付けると「オプション体系」になります。

6-1 1. 整列

体系の整列を行います。

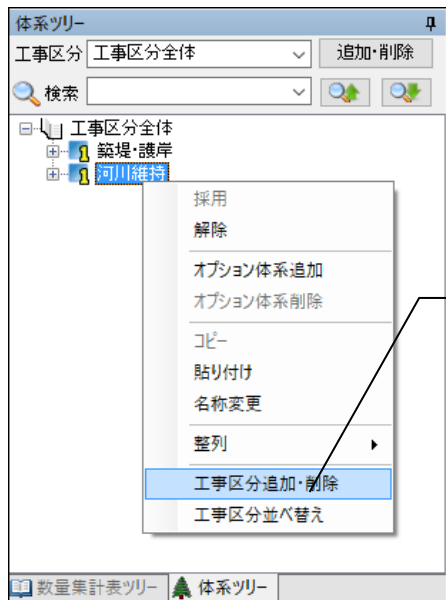
■右クリック：『整列』－『体系レベル3』



6-12. 工事区分追加・削除

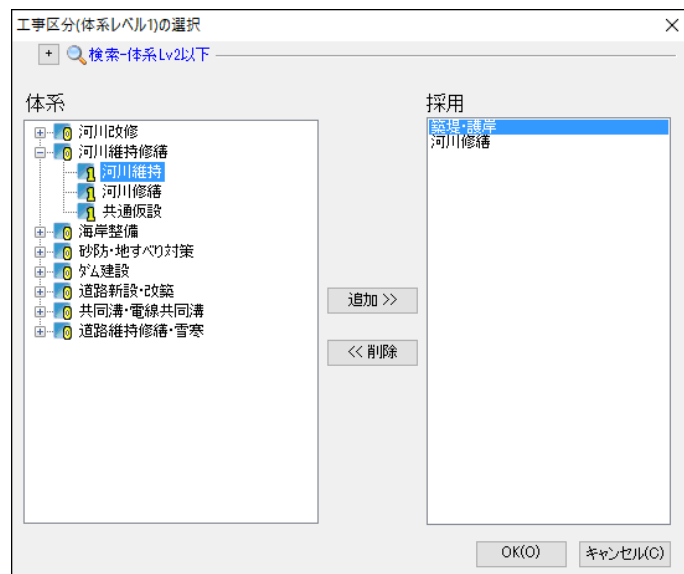
工事区分の追加・削除を行います。

■右クリック：『工事区分追加・削除』



右クリック：『工事区分追加・削除』を選択します。

「工事区分（体系レベル 1）の選択」画面が表示されます。



6-13. 工事区分並び替え

工事区分の並び替えを行うことができます。

■右クリック：『工事区分並び替え』

右クリック：『工事区分並び替え』を選択します。
[工事区分(体系レベル 1)の並び替え] 画面が表示されます。

▼ボタンで「築堤・護岸」と「河川維持」の位置を並び替え『OK(O)』ボタンをクリックします。

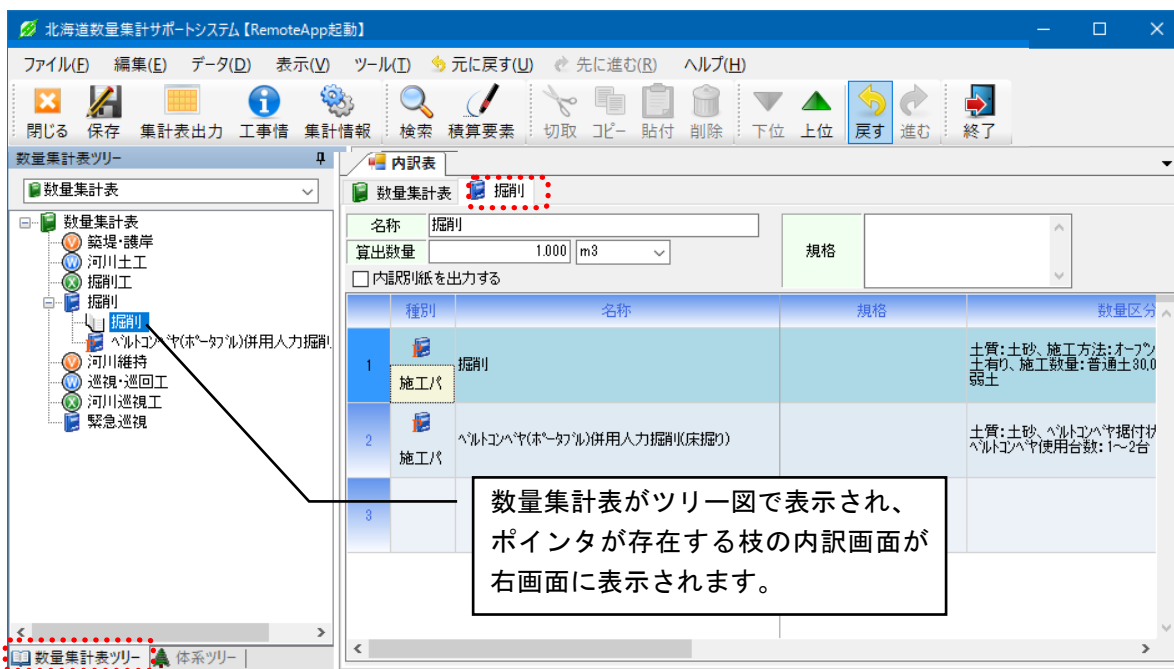
工事区分の並び替えが完了しました。



7. 数量集計表ツリー

数量集計表を開いたときや『数量集計表ツリー』タブを選択すると、[数量集計表ツリー] 画面が表示されます。

■メニュー：『表示(V)』－『数量集計表ツリー(S)』

■右クリック：『画面表示(S)』－『数量集計表ツリー(S)』




ピンマークを  →  にするとツリー図を閉じて、内訳書が全画面表示になります。[体系ツリー] 画面でも下図の表示になります。

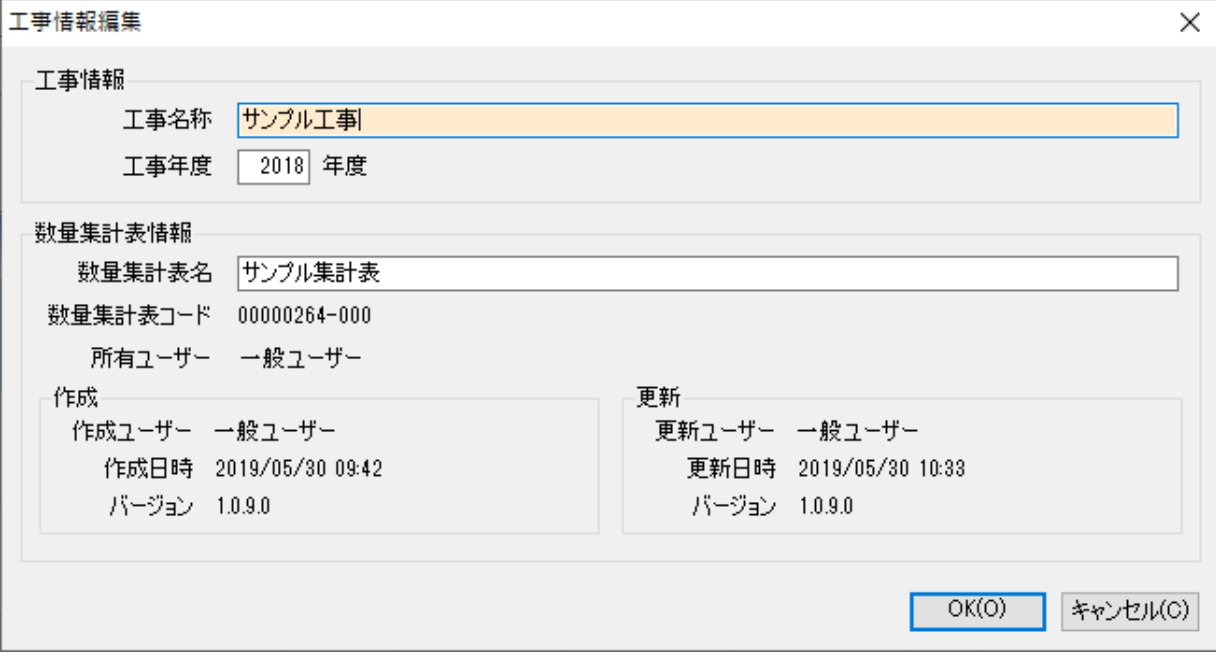
種別	名称	規格	数量区分	単位	数量
1 施工バ	掘削		土質:土砂、施工方法:オフツツ有り、施工数量:普通土30,000m3未満又埋地軟弱土	m3	1.0
2 施工バ	ヘルメットヘルメット(ヘルメット)併用掘削(床掘削)		土質:土砂、ヘルメットヘルメット併用掘削(床掘削)、ヘルメットヘルメット使用台数:1~2台	m3	1.0
3					

8. 工事情報

現在開いている数量集計表の工事情報を表示、又は編集することができます。

■ ツールバー： ボタン

■ メニュー：『ファイル(F)』－『工事情報(I)』



工事情報編集

工事情報

工事名称

工事年度 年度

数量集計表情報

数量集計表名

数量集計表コード 00000264-000

所有ユーザー 一般ユーザー

作成

作成ユーザー 一般ユーザー

作成日時 2019/05/30 09:42

バージョン 1.0.9.0

更新

更新ユーザー 一般ユーザー

更新日時 2019/05/30 10:33

バージョン 1.0.9.0

OK(O) キャンセル(C)

『OK(O)』・・・編集した情報を有効にして〔内訳構成〕画面に戻ります。

『キャンセル(C)』・・・編集した情報を無効にして〔内訳構成〕画面に戻ります。

8-1. 工事情報

<1> 工事名称

「工事名称」を編集することができます。

<2> 工事年度

「工事年度」を編集することができます。

8-2. 数量集計表情報

<1> 数量集計表名

「数量集計表名」を編集することができます。

<2> 数量集計表コード

「数量集計表コード」を確認できます。

<3> 所有ユーザー


「所有ユーザー」を確認できます。

<4> 作成・更新

数量集計表を作成、もしくは更新した「ユーザー」「日時」「システムバージョン」を確認できます。

9. 集計表情報設定

現在開いている数量集計表の集計表情報を表示、又は編集することができます。

■ ツールバー:  ボタン

■ メニュー: 『ファイル(F)』 - 『集計表情報設定(H)』

集計表情報設定

発注者名: 北海道札幌建設管理部

地区情報

地区数: ☒ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4

地区番号	地区名
1	

※1地区のみの場合、地区名は空白でも可

OK(O) キャンセル(C)

コンボボックスから選択又は、直接入力して設定します。

使用する地区の数を選択し、使用する地区分、地区名を入力して設定します。

『OK(O)』・・・編集した情報を有効にして〔内訳構成〕画面に戻ります。

『キャンセル(C)』・・・編集した情報を無効にして〔内訳構成〕画面に戻ります。

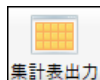
※注意

地区を途中で減らした場合、減らした地区情報は設計書を保存すると削除されます。

10. 体系化集計表出力

10-1. 体系化集計表出力

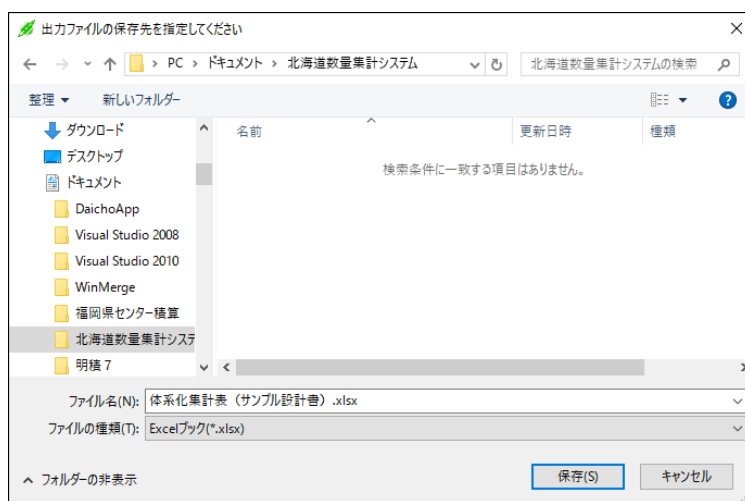
数量集計表に積み上げた内容をエクセル出力します。



■ ツールバー：集計表出力 ボタン

■ メニュー：『ファイル(F)』－『体系化集計表出力(O)』

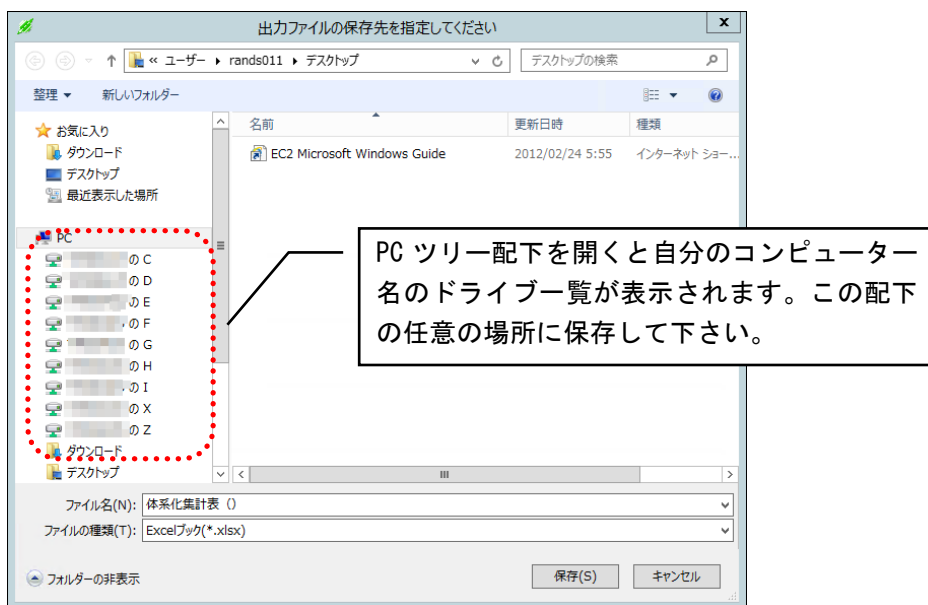
『体系化集計表出力(O)』ボタンをクリックすると、出力ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。



<1> 出力先

保存先は自分の **PC ドライブ** の任意の場所に保存して下さい。


「デスクトップ」や「ダウンロード」はサーバ側のフォルダであり、保存先に指定できません。



保存が完了すると、確認画面が表示されます。



『OK』・・・確認画面を閉じます。




注意

数量集計表チェック

体系化集計表出力前に自動的に数量集計表チェックが行われます。
エラーや警告がある場合は、チェック箇所を確認・修正後、体系化集計表出力を行って下さい。

数量集計表チェック



数量集計表チェックでエラーがあります。
正しく出力されない可能性があります。
エラー箇所を修正後に出力処理を行ってください。

この処理を続けますか？

はい(Y)
いいえ(N)

『はい(Y)』・・・体系化集計表出力を行います。

『いいえ(N)』・・・処理を中止して元の画面に戻ります。

10-2. 出力ファイル

<1> 出力ファイル構成

1. 表紙シート

工事年度や発注者名を出力します

数量集計 ver.1.0

平成 28 年 度
〇〇工事
体 系 化 数 量 集 計 表
北海道札幌建設管理部

2. 数量集計表シート

システムで積み上げた体系レベル 2 の数分シートが出力されます。
体系レベル 2 の名称がシート名になります。

数量集計 ver.1.0

数量集計表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	数量用 単位	数量区分		当初設計		策定設計変更		内訳 数量表 別紙	備考							
								合計		合計										
掘削工																				
掘削	土砂	掘削	m3			土質	施工方法	降土の有無	降土の有無	施工数量	111	111.0	0	0.0						
						土砂	オープンカット	降土無し	降土無し	30.00m3未満		111.0								
掘削	土砂	掘削	m3			土質	施工方法			施工数量	111	111.0	0	0.0						
						土砂	水中掘削					111.0								
掘削	軟岩	掘削	m3			土質	施工方法	降土の有無	施工数量	設計見込みの有無	111	111.0	0	0.0						
						軟岩	オープンカット	降土無し	30.00m3未満	設計見込みありの有無		111.0								
						崩壊降土無し														
土砂等運搬	土砂	土砂等運搬	m3			土砂等発生現場	積み重ね 焼結	土質	CID区間の有無	運搬距離	222	222.0	0	0.0						
						搬送	バッチ処理 (2000kg/バッチ)	土砂等発生現場より搬出	CID区間無し	0.3km以下		222.0								
法面整形工																				
法面整形(切土部)	砂質土	法面整形	m2			整形箇所	現場制約の有無	土質			111	111.0	0	0.0						
						切土部	現場制約無し	1:4以上 崩壊防止用土				111.0								

●「レベル6（積算要素）」と「数量区分」

レベル1 (工 事 区 分)		道路改良		レベル2 (工 種)		道路土工					
レベル3 (種 別) レベル4 (細 目)		レベル5 (規 格)		レベル6 (積算要素)		積算用 単位		数 量 区 分			
掘削工											
掘削				掘削		m3		土質			
								施工方法			
								押土の有無			
								施工数量			
								土砂			
								オフカット			
								押土有り			
								普通土20.0 0.00m3 改良土 普通砂利土			

条件①～④を全て満たした時のみ、出力されます。

- ①内訳紙を出力しない設定
- ②体系レベル4の算出数量が「1」
- ③下位には施工パッケージ1つしか計上されていない
- ④下位施工パッケージの数量が「1」

内訳表							
数量集計表							
名称 数量集計表							
算出数量 1.000 式							
種別	名称	規格	単位	数量 合計		内訳 別紙	
1	築堤・護岸		式	1	1	1	
2	河川土工		式	1	1	1	
3	掘削工(流用土1)		式	1	1	①	
4	掘削	土質:	m3	1.000	1.000	1.000	
5							



内訳表					
数量集計表 掘削					
② 名称 掘削					
算出数量 1.000 m3					
<input type="checkbox"/> 内訳別紙を出力する					
種別	名称	単位	数量	備考	
1 ③ 施工パ	掘削	m3	④ 1.000		

※ 参照 「5-4.<1>4 内訳別紙」

- 「数量まるめ」

当初						
採用 数値	採用 桁数	標準 数値	追加条件①		追加条件②	備考
標準数値及び追加条件の確認						
100	-2	100	1000	未満の場合 10	有効数値1桁	岩の場合は10m3
10	-1	100	1000	未満の場合 10	有効数値1桁	岩の場合は10m3
10	-1	100	1000	未満の場合 10	有効数値1桁	岩の場合は10m3
1	0	100	1000	未満の場合 10	有効数値1桁	岩の場合は10m3

数量まるめ列に設定したまるめ条件で出力されます。

3. 内訳数量表シート

システムで「内訳別紙を出力する」に設定されたもののみ体系レベル 4 配下の内訳数量情報を出力します。

数量集計 ver.1.0

1-1 法面整形(切土部) 数量表					内 訳 数 量 表	
砂質土					111.0	m ²
項 目	規 格	数 量 区 分	単 位	数 量		備 考
				全 体	1 m ² 当り	
法面整形		整形箇所: 切土部、現場制約の有無: 現場制約無し、土質: 砂質土、砂及び砂質土、粘性土	m ²	111.0	1.0	
				0.0		


2-1 地下排水 数量表					内 訳 数 量 表	
管種 合成樹脂全面透水管、管径φ150					14.5	m
項 目	規 格	数 量 区 分	単 位	数 量		備 考
				全 体	10 m 当り	
暗渠排水管	合成樹脂全面透水管、φ150	作業区分: 掘付、管種別: 波状管及び横状管、呼び径: 50~150mm、継手材料費: 要	m	14.5	10.0	
フィルター材	0~80mm級切込砕石	フィルター材の種類: 砕石各種	m ³	2.6	1.8	

内訳表

数量集計表 掘削

名称 数量集計表

算出数量 1.000 式

種別	名称						内訳別紙
1 工種	路堤・護岸						1
2 工種	河川土工		式	1	1	1	
3 工種	掘削工(流用土1)		式	1	1	1	
4 体系内訳	掘削	土質:	m ³	1.000	1.000	1.000	
5							

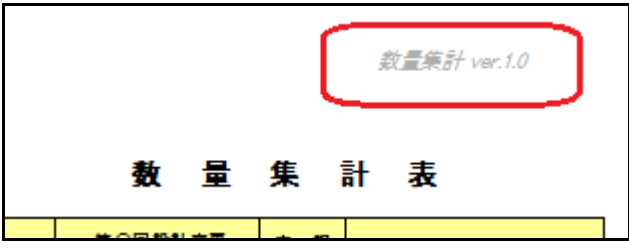
出力したいものは「内訳別紙を出力する」設定を有効にします。

参照

「5-4. <1>4 内訳別紙」

注意 シートヘッダー文字列について

出力されたエクセルファイルのシートヘッダーには『数量集計 ver.?.?』と設定されています。これはシステムから作成されたことを確認するものであるため、編集しないでください。



注意 出力ファイルの数量の小数桁

システムでは、「数量」欄は小数点以下第3位まで表示しますが、体系化集計表出力で作成されるファイルは、シートによって数量の小数桁表示が異なります。

- ・数量集計表シート「数量」欄（M列）・・・小数点以下第4位まで表示
- ・内訳数量表シート「数量」欄（E列、F列）・・・小数点以下第1位まで表示

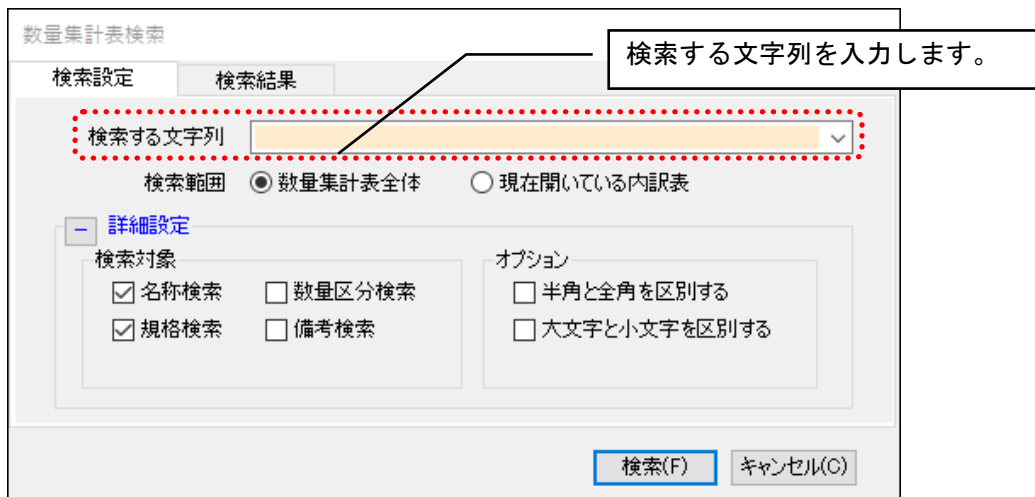
1 1. 検索

1 1-1. 画面について

数量集計表内に積み上がっているデータを名称、規格で検索することができます。

■ツールバー： ボタン

■メニュー：『ツール(T)』－『数量集計表検索(S)』



数量集計表検索

検索設定 検索結果

検索する文字列

検索範囲 ☒ 数量集計表全体 ☐ 現在開いている内訳表

詳細設定

検索対象

☒ 名称検索 ☐ 数量区分検索

☒ 規格検索 ☐ 備考検索

オプション

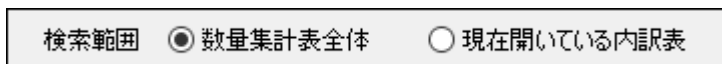
☐ 半角と全角を区別する

☐ 大文字と小文字を区別する

検索(F) キャンセル(O)

検索する文字列を入力します。

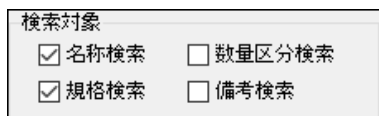
< 1 > 検索範囲



検索範囲 ☒ 数量集計表全体 ☐ 現在開いている内訳表

数量集計表全体・・・・・・・・数量集計表全体を対象に検索を行います。
現在開いている内訳表・・・開いている内訳表のみを対象に検索を行います。

< 2 > 検索対象



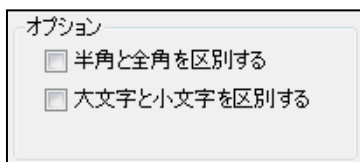
検索対象

☒ 名称検索 ☐ 数量区分検索

☒ 規格検索 ☐ 備考検索

検索の対象とする項目にチェックを付けます。
複数選択も可能です。

< 3 > オプション



オプション

☐ 半角と全角を区別する

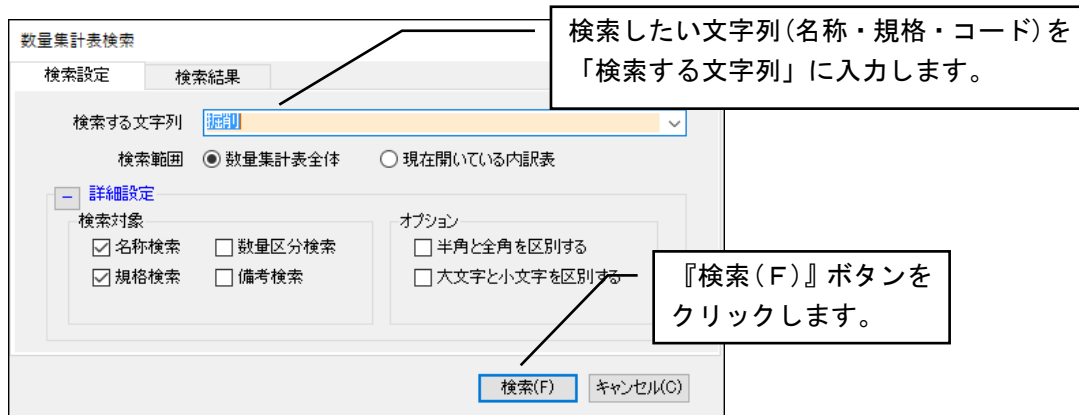
☐ 大文字と小文字を区別する

半角と全角、大文字と小文字を区別して検索したい場合、
該当項目にチェックを付けます。

1 1-2. 検索

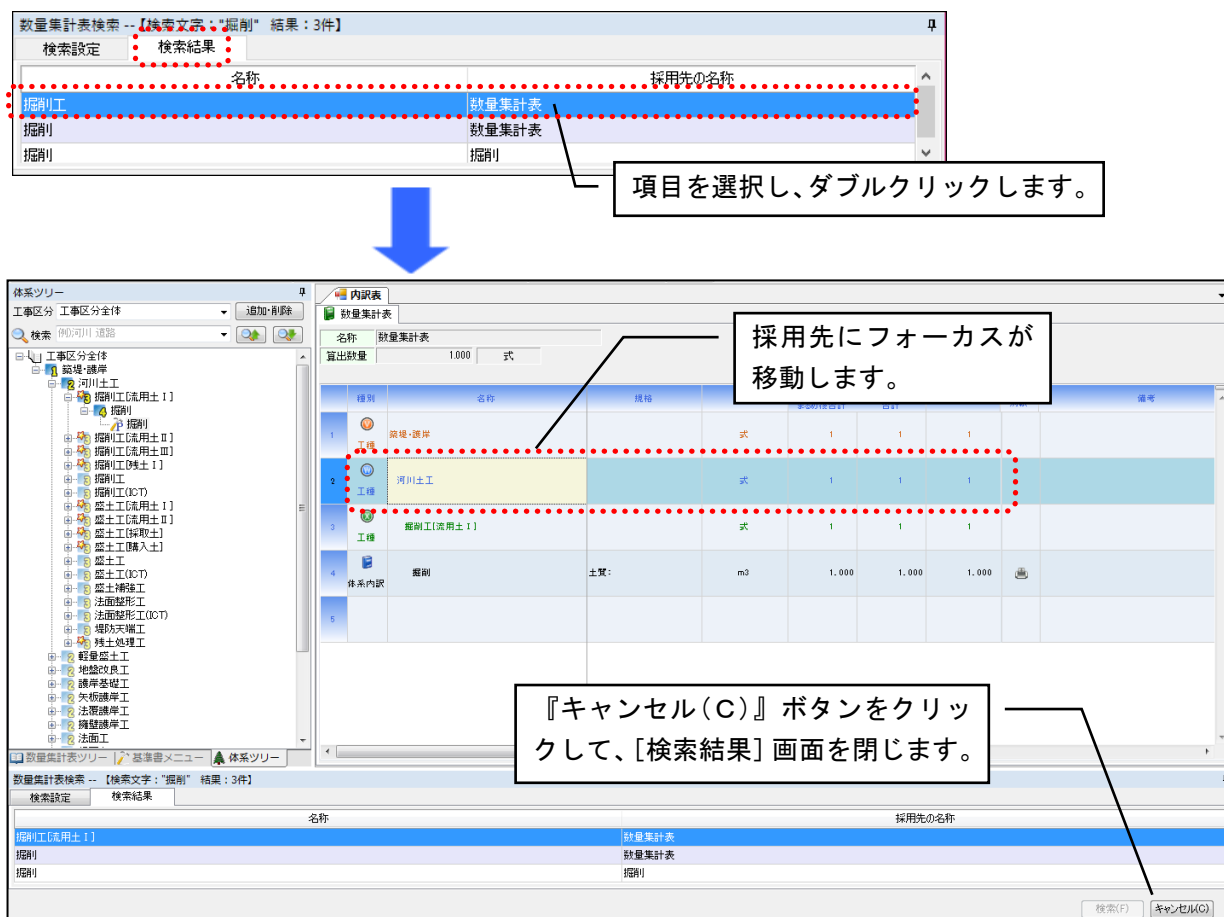
<1> 検索設定

数量集計表内の名称・規格検索を行います。



<2> 検索結果

システム画面の下部に、検索結果が表示されます。



検索結果画面を再度表示したい場合は、ツールバーの『検索結果』ボタンで確認できます。



『検索結果』

1 2. 数量集計表保存

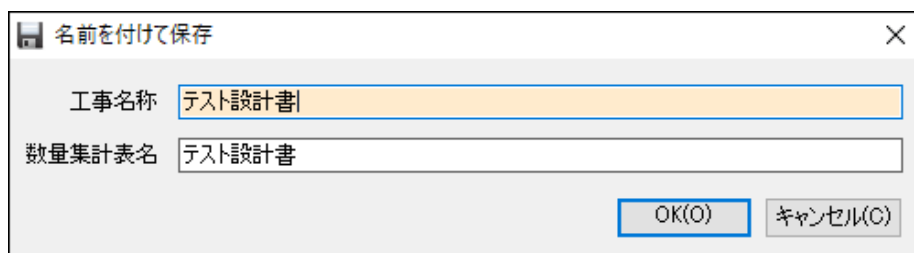
数量集計表の保存を行います。

■ ツールバー： ボタン

■ メニュー：『ファイル(F)』－『名前を付けて保存(A)』
－『上書き保存(S)』

1 2-1. 新規作成した数量集計表

[名前を付けて保存] 画面が表示されますので、「工事名称」と「数量集計表名」を入力します。
数量集計表に工事名称が入力されている場合は初期値で表示されます。



名前を付けて保存 dialog box のスクリーンショット。タイトルバーには「名前を付けて保存」と「×」ボタンがあります。フォームには「工事名称」と「数量集計表名」の2つの入力欄があります。両方の入力欄には「テスト設計書」という文字が入力されています。右下には「OK(O)」と「キャンセル(C)」の2つのボタンがあります。

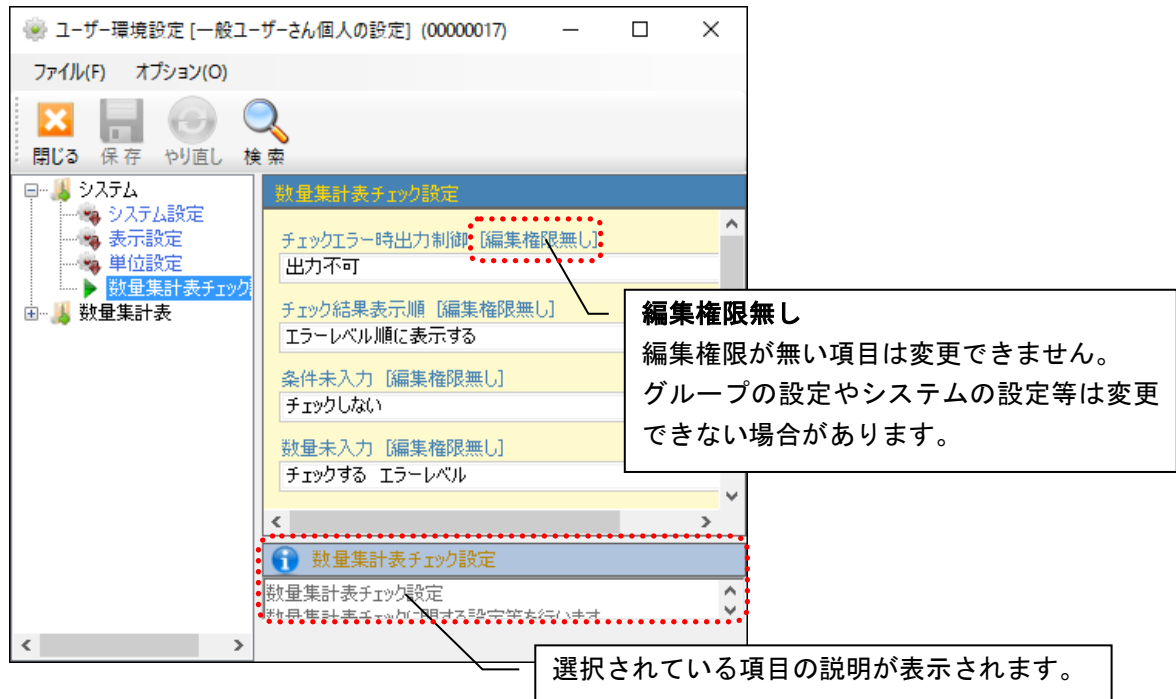
1 2-2. 既存数量集計表

数量集計表データを上書き保存します。

13. ユーザー環境設定

ユーザー毎の環境設定を設定、編集することができます。

■メニュー：『設定(S)』－『ユーザー環境設定(U)』



… [ユーザー環境設定] 画面を閉じます。



… 編集した環境設定を保存します。



… [ユーザー環境設定] 画面を初期表示した状態に戻します。



… [検索] 画面を表示します。

1 4. その他の機能

1 4-1. 数量集計表チェック

未入力の数量や、条件を設定せずに採用したデータの内訳表をチェックし、一覧を表示します。
体系化集計表出力時は自動的に数量集計表チェックが行われます。

■メニュー：『ツール(T)』－『数量集計表チェック(T)』

数量集計表チェック --【エラー数：2 警告数：0 通知数：0】			
再チェック(R) ジャンプ(J)			
種別	チェック結果	所属内訳表	構成行情報
エラー	数量未入力	数量集計表	掘削
エラー	数量未入力	数量集計表	緊急巡視

数量集計表チェック一覧から未入力行のチェック結果欄をクリックするとガイド文が表示され、未入力行へカーソルが移動します。

数量集計表チェックガイド

数量が入力されていません。
数量欄に数量を入力してください。

開じる(O)

種別	チェック結果	所属内訳表	構成行情報
エラー	数量未入力	数量集計表	掘削
エラー	数量未入力	数量集計表	緊急巡視

■名称未入力行の場合

数量集計表チェックガイド

名称が入力されていません。
名称欄に名称を入力してください。

閉じる(C)

■単位未入力行の場合

数量集計表チェックガイド

単位が入力されていません。
単位欄に単位を入力してください。

閉じる(C)

■数量未入力行の場合

数量集計表チェックガイド

数量が入力されていません。
数量欄に数量を入力してください。

閉じる(C)

■マイナス数量を入力した場合

数量集計表チェックガイド

マイナス数量が入力されています。
入力している数量が正しいか確認してください。

閉じる(C)

■条件未入力行の場合

数量集計表チェックガイド

採用している施工パッケージの条件が設定されていません。
行番号をクリックするか、「データ」→「施工パッケージ条件入力」メニューをクリックして「施工パッケージ条件設定」画面を開き条件を入力してください。

閉じる(C)

■数量まるめ標準数値未入力

数量集計表チェックガイド

体系レベル4構成行に数量まるめの標準数値が設定されていません。
数量まるめ欄で標準数値を設定してください。

閉じる(C)

■数量まるめ追加条件2未入力

数量集計表チェックガイド

体系レベル4構成行に数量まるめの追加条件2が設定されていません。
数量まるめ欄で追加条件2を設定してください。

閉じる(C)



【数量集計表チェック】画面

再チェック(R)

ジャンプ(J)

ボタン

『再チェック(R)』・・・再度、数量集計表チェックを行い、表示されている情報を現在のデータで更新します。

『ジャンプ(J)』・・・フォーカス行の単価表の構成行にジャンプします。
ガイド文は表示されません。

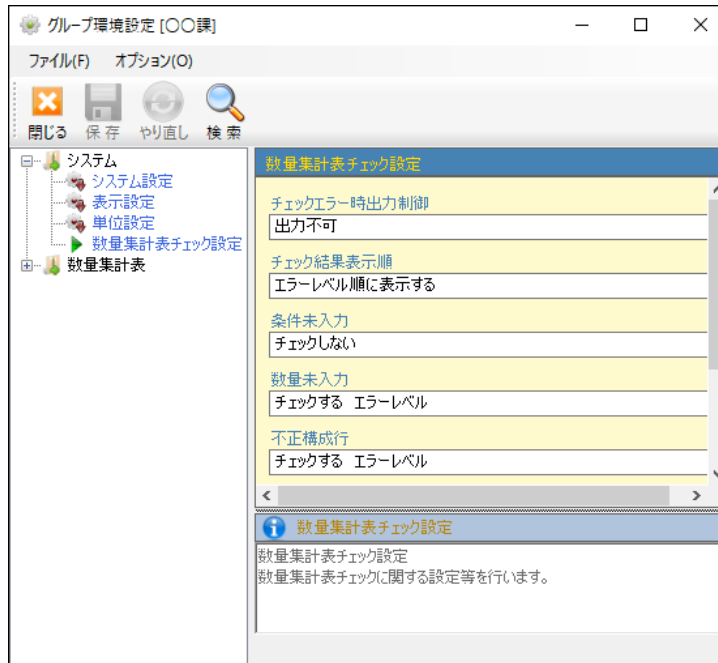
※未入力行内でダブルクリックした場合も、同様にジャンプします。

チェック内容の設定

チェックする内容を環境設定で設定することができます。

■メニュー：『管理(K)』－『グループ環境設定(K)』

■メニュー：『管理(K)』－『顧客基本環境設定(C)』



● チェック結果表示順

チェック結果の表示順のチェック内容の設定を行います。

● 条件未入力

施工パッケージの条件未入力時のチェック内容の設定を行います。

● 数量未入力

数量未入力時のチェック内容の設定を行います。

● 不正構成行

システム内で不正行となった構成行のチェック内容の設定を行います。

● マイナス数量

マイナス数量入力時のチェック内容の設定を行います。

● 単位未入力

単位が入力されていない構成行の数量集計表チェックの設定を行います。

● 名称未入力

名称が入力されていない構成行の数量集計表チェックの設定を行います。

1 4-2. 画面フォントサイズの変更

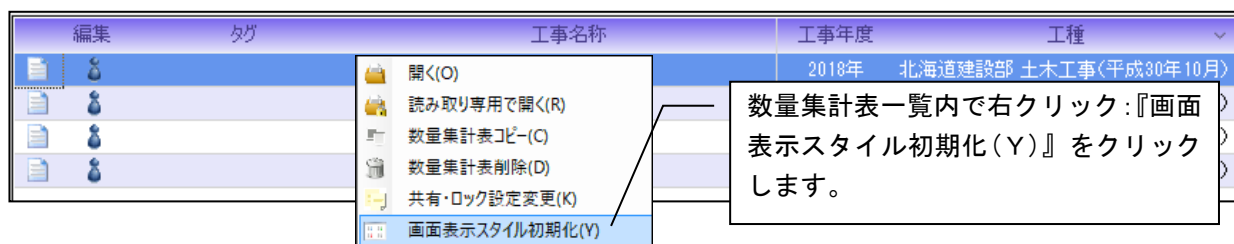
画面表示のフォントサイズを変更する事ができます。

キーボードの【Ctrl】キーを押しながら、マウスホイールを上下に動かすと、フォントサイズを調整できます。

1 4-3. 画面表示スタイル初期化

〔数量集計表一覧〕画面、〔内訳構成〕画面のスタイル（フォントサイズや各項目の横幅）を初期値のスタイルに戻します。〔数量集計表一覧〕画面、〔内訳構成〕画面それぞれで設定が必要です。

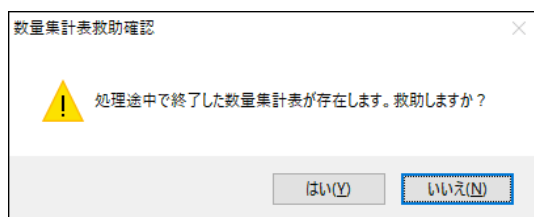
■右クリック：『画面表示スタイル初期化(Y)』



1 4-4. 数量集計表救助

直前まで作業していた数量集計表のバックアップファイルを、数量集計表ファイルとして復旧する機能です。積算システム使用時に、万が一停電が発生、又はシステムがダウンした場合でも、作成途中の数量集計表を復旧することができます。


前回作業時に数量集計表が保存できなかった場合は、システム起動時に〔数量集計表救助確認〕画面が表示されます。



『はい(Y)』・・・〔数量集計表救助〕画面が表示されます。

『いいえ(N)』・・・数量集計表の救助は行わず〔数量集計表一覧〕画面が表示されます。

数量集計表救助


救助する数量集計表を一覧から選択して下さい。

救助	削除	工事名称	数量集計表名	更新日付	ユーザー名
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	サンプル設計書	サンプル設計書	2016/12/22 12:01:11	一般ユーザー


「救助」にチェックをつけると、対象数量集計表を新しい数量集計表として復旧します。
「削除」にチェックをつけると、救助情報から削除します。
両方にチェックをつけなかった数量集計表は、次回システム起動時に再度確認を行います。
※救助情報から削除した数量集計表の救助は行えなくなりますので注意してください。

実行(O)

キャンセル(C)

< 1 > 救助

「数量集計表救助」画面に表示された一覧から、救助する数量集計表を選択し、救助欄のチェッ

クボックスにチェック  を付けます。


『実行(O)』ボタンをクリックすると、数量集計表の救助が開始されます。

復旧された数量集計表は、数量集計表名の前に【救助】が追加され新しい数量集計表として保存されます。

編集	タグ	工事名称	工事年度	工種	発注者	更新ユーザー	数量集計表名	数量集計表コード
		【編集状況/編集中】 サンプル設計書	平成28年度	北海道建設部 土木工事(平成28年10月)	北海道札幌建設管理部	一般ユーザー	【救助】サンプル設計書	00000431-000

< 2 > 削除

「数量集計表救助」画面に表示された一覧から、削除する数量集計表を選択し、削除欄のチェッ

クボックスにチェック  を付けます。

『実行(O)』ボタンをクリックすると、数量集計表の削除が行われ、数量集計表の救助は行えなくなります。

< 3 > キャンセル

『キャンセル(C)』ボタンをクリックすると「数量集計表救助」画面を終了し、「数量集計表一覧」画面が表示されます。

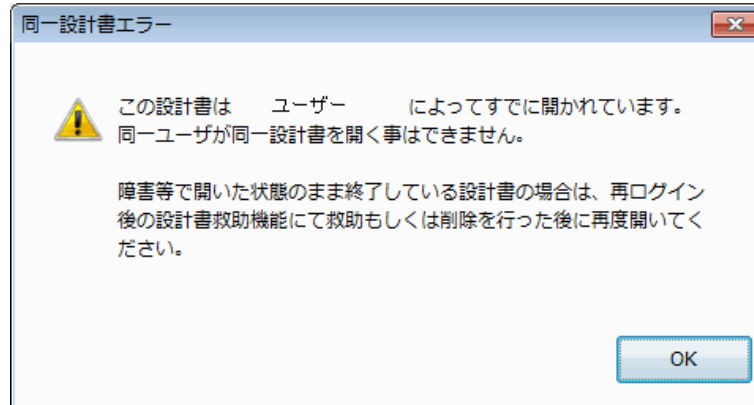


ポイント

数量集計表の救助や削除を行わずに「数量集計表救助」画面を終了した場合、次回システム起動時にも、再度「数量集計表救助確認」画面が表示されます。

救助が必要でない数量集計表の場合は、数量集計表救助で削除を行って下さい。

又、救助が必要な数量集計表は「数量集計表一覧」画面から開く事ができず、エラー画面が表示されます。



システムに再ログイン後、起動時の「数量集計表救助確認」画面より、「数量集計表救助」画面へ進み、数量集計表の救助を行って下さい。



注意

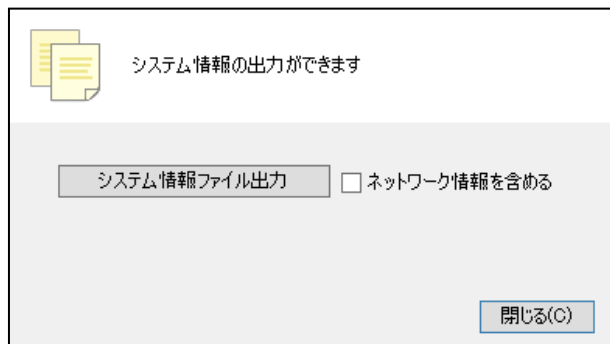
電源遮断やシステムエラーにより、数量集計表ファイル自体が破壊される恐れがあります。

その場合、数量集計表の救助を行っても、復旧できない場合があります。

1 4-5. システム情報

システム情報の出力ができます。

■ メニュー：『ヘルプ(H)』－『システム情報(S)』



『閉じる』・・・[システム情報] 画面が閉じます。

<1> システム情報ファイル出力

「北海道数量集計サポートシステム」のシステム情報を XML ファイル形式で出力します。

『ネットワーク情報を含める』にチェックを付けると、ネットワーク情報も含めて出力します。

1 4-6. バージョン情報

システムのバージョンを表示します。

■ メニュー：『ヘルプ(H)』－『バージョン情報(A)』

